

# 市内循環バス「きらめき号」 利用者アンケート調査結果

柏原市

# 1. 調査概要

## (1) 調査目的

- 柏原市が運行する市内循環バス「きらめき号」利用者の利用実態やニーズを把握するために、バス利用者を対象としたアンケート調査を実施した。

## (2) 実施概要

### 【調査対象】

市内循環バス「きらめき号」利用者

### 【調査実施時期】

調査票配布：令和6年3月12日(火)、13日(水)

調査票回収：令和6年3月22日(金)迄

### 【配布方法】

きらめき号 1号車～4号車：バス車両に乗り込み、乗車した方に調査票を手渡し

きらめき号 5号車：国分駅東口バス停にて降車する方に調査票を手渡し

柏原市役所および国分駅東口の待合室にて調査票を配架

### 【回収方法】

郵送による回収、各バス車両内に設置した回収袋への投函による回収



調査票配布の様子(国分駅東口)



バス車内回収袋

## (3) 調査項目

- 市内循環バス「きらめき号」の利用状況
- 市内循環バス「きらめき号」の満足度と改善要望等について
- 公共交通への税負担や必要性等に関する意識
- 運転免許証の自主返納について【65歳以上の方を対象】
- 個人属性



アンケート調査票の配架  
(市役所待合室)

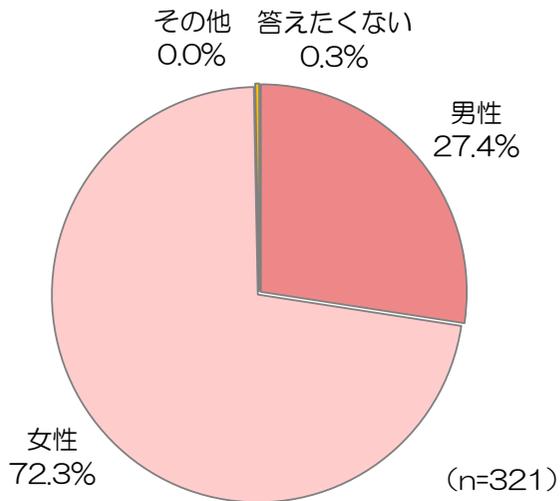


アンケート調査票の配架  
(国分駅東口待合室)

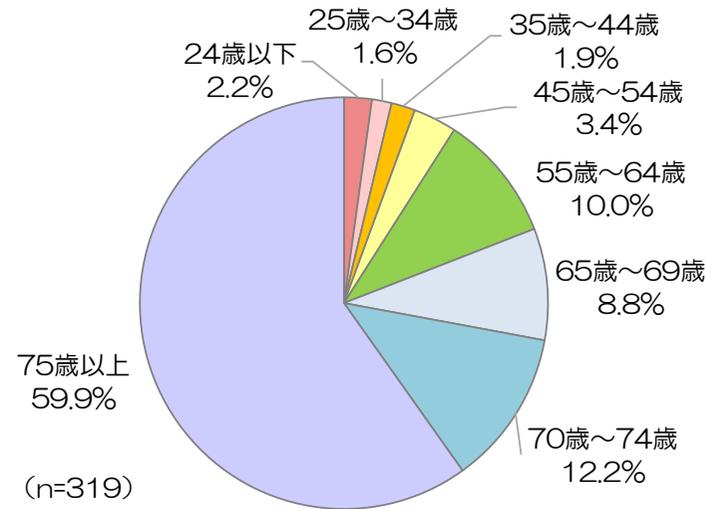
# 1. 回答状況

- 配布部数は634部、回答部数は327部、回答率は51.6%である。
- 回答者の72%は女性である。また、75歳以上の後期高齢者が60%、65歳～74歳の前期高齢者が21%で、回答者の8割以上を高齢者が占めるアンケートデータである。
- 回答者の住まいはほとんどが柏原市内で、その内バス停勢圏内が39%、勢圏外が48%である。

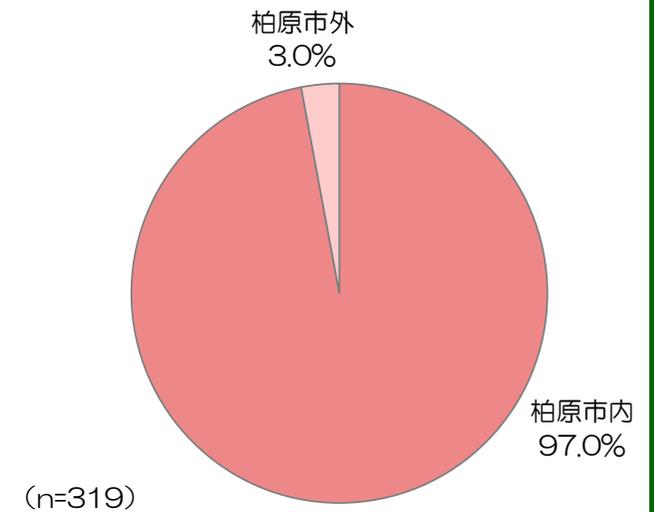
●回答者の性別



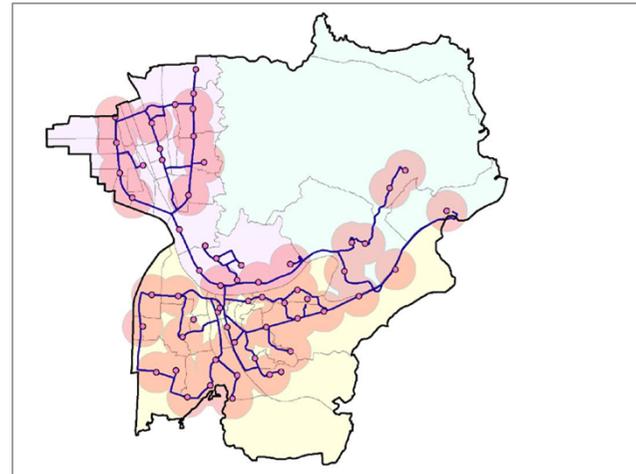
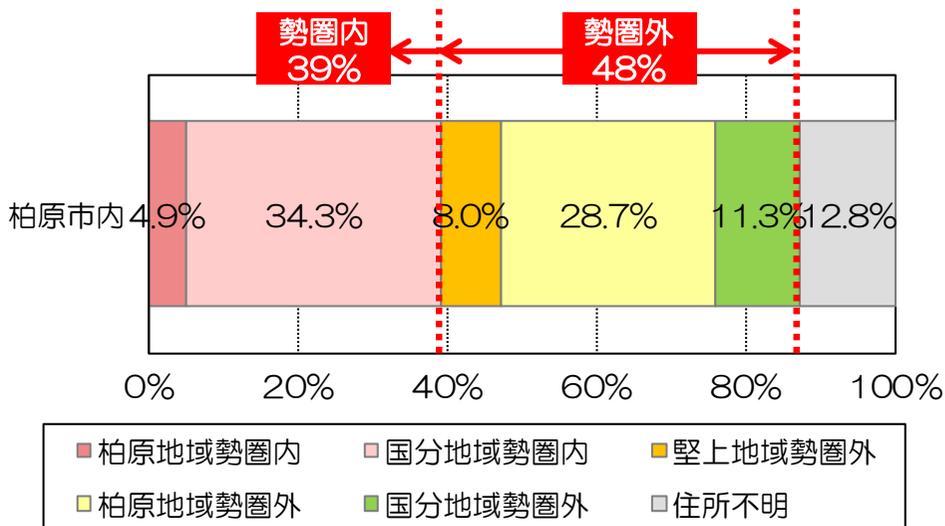
●回答者の年齢



●回答者の住まいの地域



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある



※市内循環バス「きらめき号」バス停から半径300mをバス停勢圏とし、各小地域の面積の50%以上がバス停勢圏にカバーされているので勢圏内外を分類している

## 2. 回答者属性

### (1) 回答者属性 (1/3)

- 自動車の保有状況を年齢別にみると、「自動車（自分で運転する）」の割合は、75歳以上が他の世代と比べて著しく低い。「自転車」の保有率も高齢になるにつれて減少している。「持っていない」の割合は高齢になるほど増加している。
- 住まいの地域別でみると、勢圏外の方が自動車の保有率が高い。特に、勢圏外では「自動車（家族が運転する）」の割合が高く、堅上地域の割合が他の地域と比べて高い。
- 同居人の状況を年齢別にみると、「未就学児と同居」や「小学生と同居」の割合は65歳未満で高い。「移動が困難な家族と同居」の割合は65歳未満と75歳以上で高い。「一人暮らし」の割合は、75歳以上で高く、高齢単身世帯が多い。

#### ●自動車等の保有状況（年齢別）

	自動車(自分で運転する)	自動車(家族が運転する)	自動二輪・原付	自転車	その他	持っていない	総回答数
全体(N=352、n=310)	11.9%	17.1%	4.8%	29.0%	1.0%	49.7%	113.5%
65歳未満(N=83、n=61)	19.7%	32.8%	6.6%	50.8%	0.0%	26.2%	136.1%
65歳～74歳(N=74、n=66)	21.2%	19.7%	1.5%	36.4%	1.5%	31.8%	112.1%
75歳以上(N=195、n=183)	6.0%	10.9%	5.5%	19.1%	1.1%	63.9%	106.6%

#### ●自動車等の保有状況（住まいの地域別）

※複数回答（自動車等の保有状況）

	自動車(自分で運転する)	自動車(家族が運転する)	自動二輪・原付	自転車	その他	持っていない	総回答数
全体(N=352、n=310)	11.9%	17.1%	4.8%	29.0%	1.0%	49.7%	113.5%
勢圏内(N=137、n=125)	6.4%	14.4%	2.4%	31.2%	0.8%	54.4%	109.6%
柏原地域(N=17、n=16)	0.0%	12.5%	0.0%	43.8%	0.0%	50.0%	106.3%
国分地域(N=120、n=109)	7.3%	14.7%	2.8%	29.4%	0.9%	55.0%	110.1%
勢圏外(N=175、n=151)	14.6%	19.9%	6.0%	27.2%	1.3%	47.0%	115.9%
堅上地域(N=29、n=25)	12.0%	24.0%	16.0%	8.0%	0.0%	56.0%	116.0%
柏原地域(N=103、n=89)	15.7%	18.0%	4.5%	28.1%	2.2%	47.2%	115.7%
国分地域(N=43、n=37)	13.5%	21.6%	2.7%	37.8%	0.0%	40.5%	116.2%

※複数回答（自動車等の保有状況）

#### ●同居人の状況（年齢別）

	未就学児と同居	小学生と同居	移動が困難な家族と同居	一人暮らし	いずれにも該当しない	総回答数
全体(N=302、n=298)	3.0%	2.7%	18.5%	26.8%	50.3%	101.3%
65歳未満(N=64、n=62)	9.7%	8.1%	19.4%	11.3%	54.8%	103.2%
65歳～74歳(N=64、n=63)	1.6%	3.2%	9.5%	22.2%	65.1%	101.6%
75歳以上(N=174、n=173)	1.2%	0.6%	21.4%	34.1%	43.4%	100.6%

※複数回答  
(同居人の状況)

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

## 2. 回答者属性

### (1) 回答者属性 (2/3)

- 歩行可能な距離を年齢別にみると、いずれの項目も高齢になるにつれて歩行可能な距離が減少する傾向にある。75歳以上では、約半分が1km以上の歩行が困難である。一方で、「歩行困難」の割合は、いずれの年代も同程度である。
- 住まいの地域別でみると、堅上地域で歩行可能な距離が500m（約8分）以下の割合が高く、その他の地域では概ね同程度である。
- 自宅最寄りのバス停までの徒歩による所要時間を住まいの地域別に見ると、いずれの地域も9割以上が10分以内である。バス停まで11分以上の割合は、勢圏内の国分地域で若干高い。

#### ●歩行可能な距離（年齢別）

	1km(約16分) 程度でも問題 なく歩ける	800m(約13分) 程度なら歩ける	500m(約8分) 程度なら歩ける	300m(約5分) 程度なら歩ける	歩行困難	回答者数
全体(n=314)	58.9%	19.1%	11.1%	9.2%	1.6%	100.0%
65歳未満(n=63)	82.5%	9.5%	3.2%	3.2%	1.6%	100.0%
65歳～74歳(n=65)	66.2%	16.9%	9.2%	6.2%	1.5%	100.0%
75歳以上(n=186)	48.4%	23.1%	14.5%	12.4%	1.6%	100.0%

#### ●歩行可能な距離（住まいの地域別）

	1km(約16分) 程度でも問題 なく歩ける	800m(約13分) 程度なら歩ける	500m(約8分) 程度なら歩ける	300m(約5分) 程度なら歩ける	歩行困難	回答者数
全体(n=314)	58.9%	19.1%	11.1%	9.2%	1.6%	100.0%
勢圏内(n=126)	62.7%	17.5%	9.5%	9.5%	0.8%	100.0%
柏原地域(n=16)	68.8%	12.5%	6.3%	12.5%	0.0%	100.0%
国分地域(n=110)	61.8%	18.2%	10.0%	9.1%	0.9%	100.0%
勢圏外(n=153)	55.6%	20.3%	12.4%	9.2%	2.6%	100.0%
堅上地域(n=26)	57.7%	7.7%	19.2%	15.4%	0.0%	100.0%
柏原地域(n=91)	52.7%	23.1%	13.2%	8.8%	2.2%	100.0%
国分地域(n=36)	61.1%	22.2%	5.6%	5.6%	5.6%	100.0%

#### ●自宅最寄りバス停までの徒歩による所要時間（住まいの地域別）

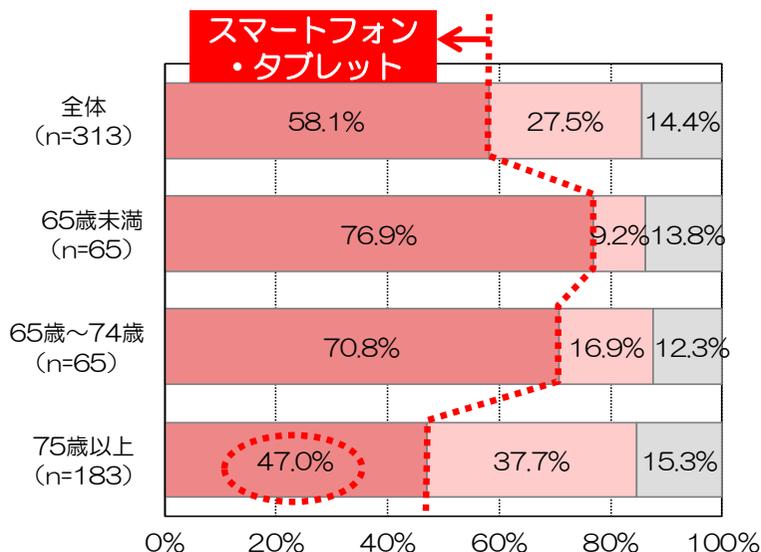
	～5分以内	6～10分	11～15分	16～20分	21分以上	回答者数
全体(n=284)	67.6%	27.5%	3.5%	1.1%	0.4%	100.0%
勢圏内(n=121)	70.2%	23.1%	4.1%	1.7%	0.8%	100.0%
柏原地域(n=15)	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
国分地域(n=106)	71.7%	20.8%	4.7%	1.9%	0.9%	100.0%
勢圏外(n=135)	68.1%	28.1%	3.7%	0.0%	0.0%	100.0%
堅上地域(n=25)	72.0%	24.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%
柏原地域(n=78)	67.9%	29.5%	2.6%	0.0%	0.0%	100.0%
国分地域(n=32)	65.6%	28.1%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%

## 2. 回答者属性

### (1) 回答者属性 (3/3)

- スマートフォン・タブレットの保有状況を年齢別にみると、「スマートフォン・タブレット」及び「携帯電話」いずれも保有していない割合は、いずれの年代も同程度である。「スマートフォン・タブレット」の保有率は75歳以上で他の年代よりも低い。
- スマートフォン・タブレットの利用する機能を年齢別にみると、「通話」及び「メール・SNS (LINE等)」の割合はいずれの年代も高いが、「インターネット」、「路線・乗換検索」及び「キャッシュレス決済 (PayPay, 楽天ペイ等)」の割合は高齢になるにつれて低い。

#### ●スマートフォン・タブレットの保有状況 (年齢別)



#### ●スマートフォン・タブレットの利用する機能 (年齢別)

	通話	メール・SNS (LINE等)	インターネット	路線・乗換検索	キャッシュレス決済 (PayPay, 楽天ペイ等)	その他	総回答数	回答者数
全体 (N=541, n=179)	92.7%	83.8%	49.7%	41.3%	30.7%	3.9%	302.2%	100.0%
65歳未満 (N=196, n=50)	96.0%	88.0%	78.0%	64.0%	62.0%	4.0%	392.0%	100.0%
65歳~74歳 (N=127, n=44)	81.8%	88.6%	43.2%	40.9%	27.3%	6.8%	288.6%	100.0%
75歳以上 (N=218, n=85)	96.5%	78.8%	36.5%	28.2%	14.1%	2.4%	256.5%	100.0%

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 3. 市内循環「きらめき号」の利用について

## (1) 主な外出目的での利用 (1/4)

- 「きらめき号」の主な利用目的を年齢別にみると、65歳未満では、「通勤・通学」の割合が最も高く、「買い物」、「その他」、「通院」の順が多い。高齢になるにつれて「買い物」及び「通院」の割合が高くなり、75歳以上の半分以上が「買い物」で利用している。
- 主な利用目的を地域別にみると、「通勤・通学」の割合は、勢圏外の堅上地域や国分地域、勢圏内の柏原地域で高い。「買い物」の割合は、勢圏内の柏原地域で特に低いが、他の地域では概ね同程度である。「通院」の割合は、勢圏内の方が高い傾向にある。
- 出発時間帯を利用目的別にみると、「通勤・通学」は6～8時台、「買い物」及び「通院」は8～10時台がピークであり、帰宅時間帯では、「通勤・通学」は16時台、「買い物」及び「通院」は12時台がピークである。

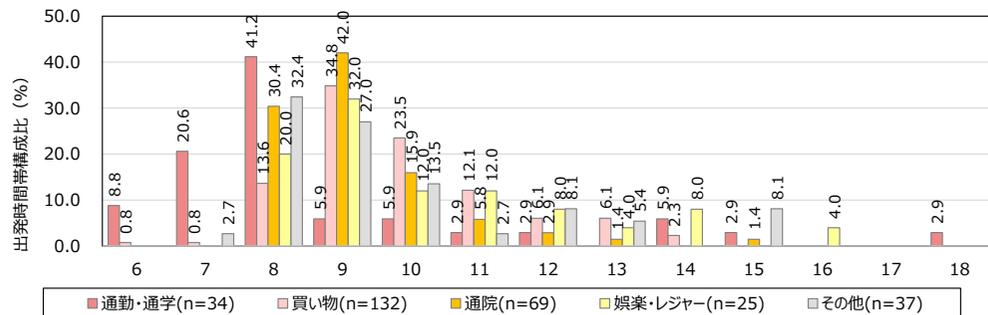
●利用目的 (年齢別)

	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	回答者数
全体 (n=326)	14.1%	43.6%	21.8%	8.0%	12.6%	100.0%
65歳未満 (n=69)	36.2%	26.1%	15.9%	2.9%	18.8%	100.0%
65歳～74歳 (n=67)	17.9%	37.3%	17.9%	14.9%	11.9%	100.0%
75歳以上 (n=190)	4.7%	52.1%	25.3%	7.4%	10.5%	100.0%

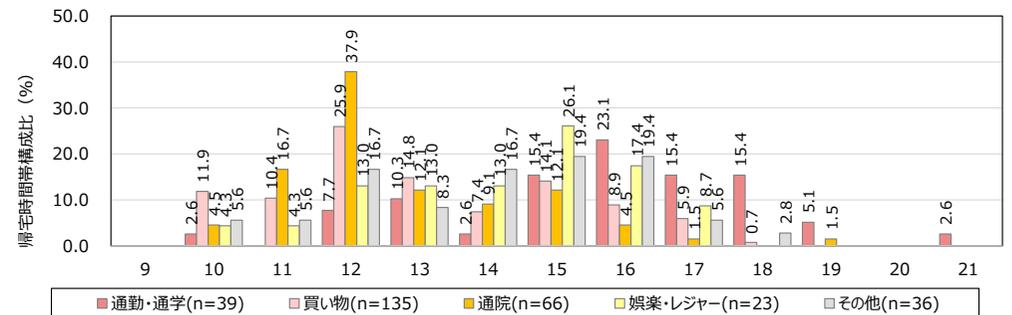
●利用目的 (住まいの地域別)

	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	回答者数
全体 (n=326)	14.1%	43.6%	21.8%	8.0%	12.6%	100.0%
勢圏内 (n=128)	7.0%	43.0%	28.1%	6.3%	15.6%	100.0%
柏原地域 (n=16)	18.8%	18.8%	25.0%	18.8%	18.8%	100.0%
国分地域 (n=112)	5.4%	46.4%	28.6%	4.5%	15.2%	100.0%
勢圏外 (n=156)	17.3%	44.9%	18.6%	9.6%	9.6%	100.0%
堅上地域 (n=26)	26.9%	50.0%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%
柏原地域 (n=93)	12.9%	47.3%	19.4%	10.8%	9.7%	100.0%
国分地域 (n=37)	21.6%	35.1%	13.5%	13.5%	16.2%	100.0%

●外出先への出発時間帯 (利用目的別)



●外出先からの帰宅時間帯 (利用目的別)



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 3. 市内循環「きらめき号」の利用について

## (1) 主な外出目的での利用 (2/4)

- 主な行き先をみると、9割以上が柏原市内を行き先としている。市外行き先では、大阪市及び八尾市が多かった。
- 主な行き先を利用目的別にみると、「買い物」及び「通院」では9割以上が柏原市内を行き先としている。一方で、市内を行き先とした「通勤・通学」は約8割で最も低い。
- 市内の主な行き先を利用目的別にみると、「通勤・通学」では、「近鉄河内国分駅周辺」及び「その他柏原市内」の割合が高い。買い物では、8割以上が「近鉄河内国分駅周辺」を行き先としている。「通院」では、「近鉄河内国分駅」や「JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺」の割合が高い。

### ●主な行き先

主な外出先	回答者数	割合
<b>柏原市内</b>	<b>290</b>	<b>92.9%</b>
近鉄河内国分駅周辺	173	55.4%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺	40	12.8%
その他柏原市内	64	20.5%
近鉄安堂駅周辺	8	2.6%
(未回答)	5	1.6%
<b>近隣市町・大阪市内</b>	<b>22</b>	<b>7.1%</b>
大阪市	10	3.2%
八尾市	7	2.2%
藤井寺市	1	0.3%
羽曳野市	1	0.3%
松原市	0	0.0%
その他大阪府内	3	1.0%
東大阪市	1	0.3%
(未回答)	2	0.6%
(未回答)	0	0.0%
<b>奈良県内</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>
三郷町	0	0.0%
王寺町	0	0.0%
その他奈良県内	0	0.0%
<b>その他府県</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>
<b>合計</b>	<b>312</b>	<b>100.0%</b>

### ●主な行き先 (利用目的別)

	柏原市内	近隣市町・大阪府内	奈良県内	その他府県	回答者数
全体 (n=312)	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
通勤・通学 (n=45)	82.2%	17.8%	0.0%	0.0%	100.0%
買い物 (n=136)	97.8%	2.2%	0.0%	0.0%	100.0%
通院 (n=68)	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%
娯楽・レジャー (n=23)	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 (n=39)	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%	100.0%

	JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺	近鉄安堂駅周辺	近鉄河内国分駅周辺	その他柏原市内	回答者数
全体 (n=285)	14.0%	2.8%	60.7%	22.5%	100.0%
通勤・通学 (n=37)	10.8%	0.0%	43.2%	45.9%	100.0%
買い物 (n=130)	10.8%	1.5%	81.5%	6.2%	100.0%
通院 (n=62)	29.0%	0.0%	48.4%	22.6%	100.0%
娯楽・レジャー (n=20)	5.0%	10.0%	55.0%	30.0%	100.0%
その他 (n=35)	8.6%	11.4%	28.6%	51.4%	100.0%

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 3. 市内循環「きらめき号」の利用について

## (1) 主な外出目的での利用 (3/4)

- 買い物施設を目的地とした外出先は、河内国分駅周辺の「ライフ国分店」や「食品館アプロ国分店」が多い。柏原駅周辺では、「サンプラザ柏原店」や「スーパーヤオヒコ柏原店」がみられた。
- 医療施設を目的地とした外出先は、「市立柏原病院」が最も多く、次いで柏原駅前の「さかいペインクリニック」が多い。
- 市役所などの市の施設を目的地とした外出先は、「柏原市役所」が最も多く、次いで「国分小学校」や「市立図書館」が多い。

### ●買い物施設の目的地

### ●医療施設の目的地

### ●市役所などの市の施設の目的地

1	ライフ国分店	68
2	食品館アプロ国分店	16
3	スーパーヤオヒコ(店舗不明)	7
4	万代(店舗不明)	6
5	サンプラザ柏原店	5
6	スーパーマルヒ国分店	4
7	スーパーヤオヒコ柏原店	3
7	DAISO河内国分店	3
7	アカカベ柏原大正店	3
8	スーパードラッグシマ柏原大県店	2
8	イズミヤ玉手店	2
8	サンドラッグ柏原大県店	2
8	ぱんのいえ(店舗不明)	2
9	万代柏原大県店	1
9	スーパー北庄	1
9	サンディ柏原店	1
9	近鉄百貨店(店舗不明)	1
9	セリア(店舗不明)	1
9	アリオ八尾	1
	その他	10
回答数 合計		139
回答者数		84

1	市立柏原病院	21
2	さかいペインクリニック	7
3	医療法人久野歯科医院	3
3	医療法人徳洲会全南病院	3
3	ほりもと内科消化器クリニック	3
3	まつもと耳鼻咽喉科	3
4	関西福祉科学大学附属整形外科リハビリ診療所	2
4	西整形外科	2
5	医療法人千輝会神田医院	1
5	医療法人聖心会大島医院	1
5	あかし内科クリニック	1
5	医療法人養心会国分病院	1
5	泌尿器科三浦クリニック	1
5	吉永眼科医院	1
5	医療法人宗栄会塚本クリニック	1
5	大阪市立総合医療センター	1
5	医療法人徳洲会八尾徳洲会総合病院	1
5	八尾市立病院	1
5	運動器ケアしまだ病院	1
	その他	8
回答数 合計		63
回答者数		44

1	柏原市役所	6
2	柏原市立国分小学校	2
2	柏原市立図書館(柏原or国分)	2
3	アゼリア柏原	1
3	玉手つどいの広場「たまたまばこ」	1
3	老人福祉センター やすらぎの園	1
3	健康福祉センター(オアシス)	1
3	柏原つどいの広場「ほっとステーション」	1
3	柏原市民文化センター	1
3	子育て支援センター スキップKIDS	1
	その他	2
回答数 合計		19
回答者数		12

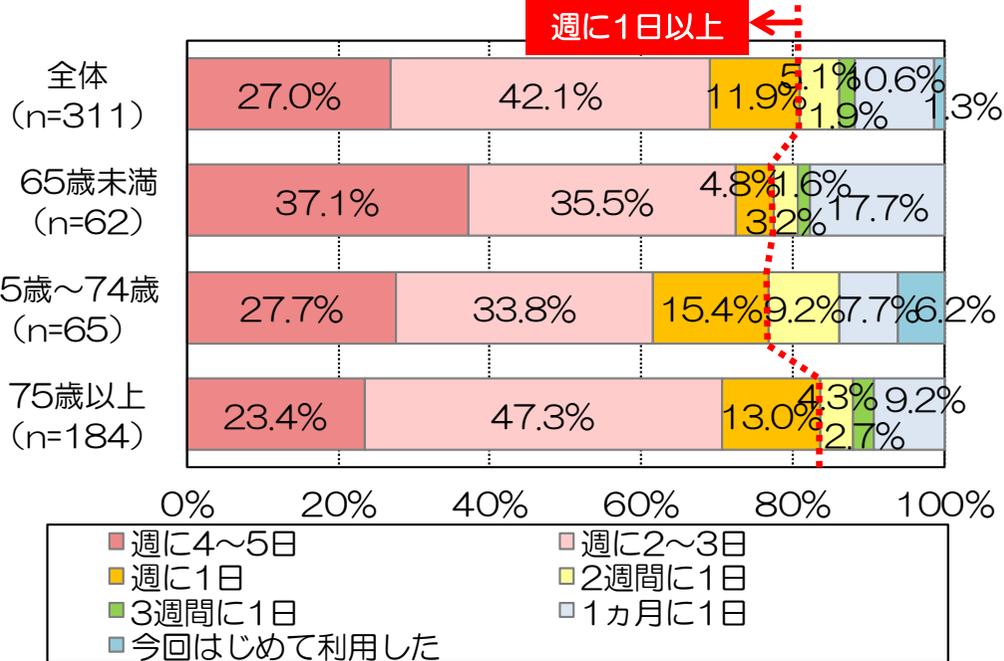
: 市内
  : 市外
  : 不明

# 3. 「きらめき号」を利用する主な外出目的

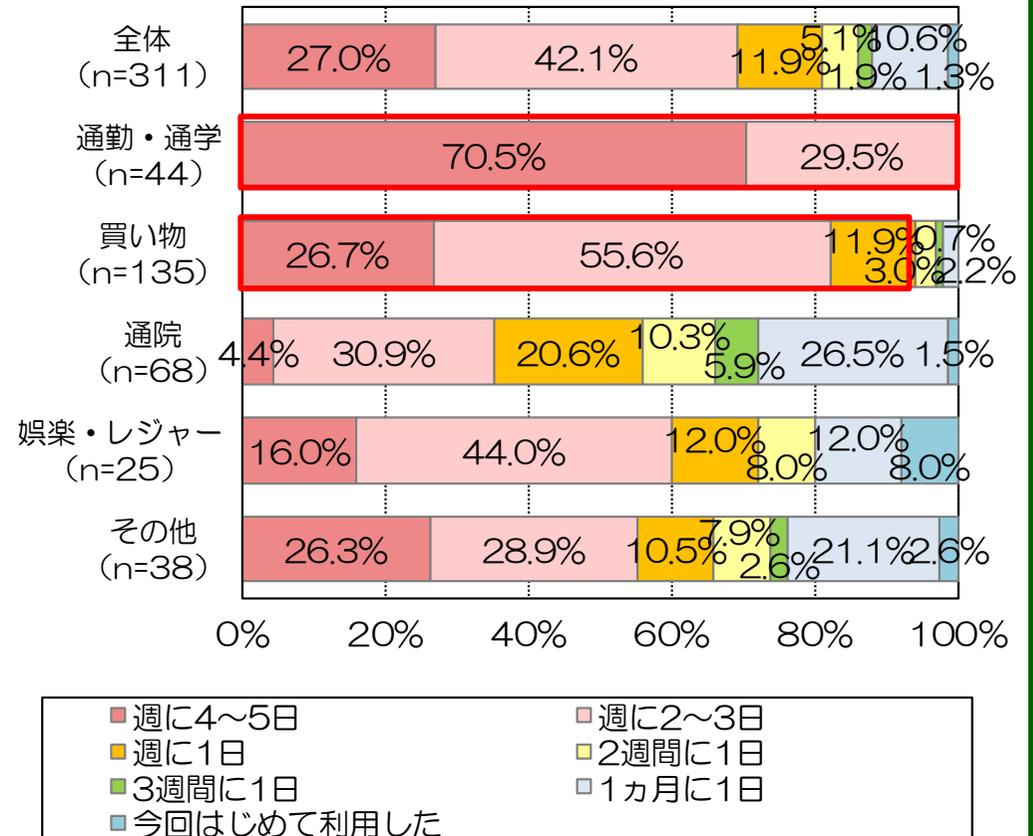
## (1) 主な外出目的での利用 (4/4)

- 主な外出先への外出頻度を年齢別にみると、いずれの年齢でも7割以上が「週に1日」以上の頻度で利用している。ほぼ毎日利用している「週に4~5日」の割合は、65歳未満で多い。
- 外出目的別にみると、「通勤・通学」目的では「週に2~3日」以上が100%を占めている。「買い物」目的では、9割以上が「週に1日」以上の頻度で利用している。

●主な外出先への外出頻度 (年齢別)



●主な外出先への外出頻度 (外出目的別)



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 3. 市内循環「きらめき号」の利用について

## (2) 主な外出目的以外での利用 (1/5)

- 「きらめき号」の主な利用目的を年齢別にみると、65歳未満では、「買い物」の割合が最も高く、主な利用目的が「通勤・通学」、それ以外の利用目的「買い物」の利用が多い。65歳以上では、いずれの利用目的も「買い物」及び「通院」の組み合わせが多い。
- 主な利用目的を住まいの地域別にみると、「通勤・通学」の割合は、勢圏外で高く、「買い物」の割合は、勢圏外の堅上地域で特に高い。「通院」の割合は、勢圏外の方が高い傾向にある。勢圏内では、主に「買い物」、それ以外で「通院」の割合が高いが、勢圏外では、主に「通院」、それ以外で「買い物」の割合が高い。

### ●利用目的 (年齢別)

	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	回答者数
全体 (n=227)	4.8%	46.7%	25.1%	10.1%	13.2%	100.0%
65歳未満 (n=44)	11.4%	43.2%	15.9%	9.1%	20.5%	100.0%
65歳～74歳 (n=43)	2.3%	48.8%	23.3%	11.6%	14.0%	100.0%
75歳以上 (n=140)	3.6%	47.1%	28.6%	10.0%	10.7%	100.0%

		主な利用目的以外の目的						
		通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	合計	
主な利用目的	全体	通勤・通学	1.3%	7.0%	0.0%	0.9%	0.4%	100.0%
		買い物	2.2%	16.3%	18.9%	4.4%	4.8%	
		通院	0.4%	17.2%	4.4%	1.8%	1.3%	
		娯楽・レジャー	0.0%	2.6%	0.9%	2.6%	0.9%	
		その他	0.9%	3.5%	0.9%	0.4%	5.7%	
	65歳未満	通勤・通学	4.5%	15.9%	0.0%	2.3%	2.3%	100.0%
		買い物	2.3%	9.1%	11.4%	4.5%	4.5%	
		通院	0.0%	9.1%	4.5%	2.3%	2.3%	
		娯楽・レジャー	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	11.4%	
	65歳～74歳	通勤・通学	0.0%	11.6%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%
		買い物	2.3%	14.0%	16.3%	4.7%	4.7%	
		通院	0.0%	20.9%	4.7%	0.0%	0.0%	
		娯楽・レジャー	0.0%	0.0%	2.3%	4.7%	4.7%	
		その他	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	4.7%	
	75歳以上	通勤・通学	0.7%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		買い物	2.1%	19.3%	22.1%	4.3%	5.0%	
		通院	0.7%	18.6%	4.3%	2.1%	1.4%	
娯楽・レジャー		0.0%	2.9%	0.7%	2.9%	0.0%		
その他		0.0%	3.6%	1.4%	0.7%	4.3%		

### ●利用目的 (住まいの地域別)

	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	回答者数
全体 (n=227)	4.8%	46.7%	25.1%	10.1%	13.2%	100.0%
勢圏内 (n=92)	3.3%	46.7%	22.8%	9.8%	17.4%	100.0%
柏原地域 (n=12)	0.0%	50.0%	8.3%	16.7%	25.0%	100.0%
国分地域 (n=80)	3.8%	46.3%	25.0%	8.8%	16.3%	100.0%
勢圏外 (n=112)	6.3%	47.3%	27.7%	9.8%	8.9%	100.0%
堅上地域 (n=21)	4.8%	66.7%	23.8%	4.8%	0.0%	100.0%
柏原地域 (n=68)	5.9%	45.6%	26.5%	11.8%	10.3%	100.0%
国分地域 (n=23)	8.7%	34.8%	34.8%	8.7%	13.0%	100.0%

		主な利用目的以外の目的						
		通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	合計	
主な利用目的	全体 (n=227)	通勤・通学	1.3%	7.0%	0.0%	0.9%	0.4%	100.0%
		買い物	2.2%	16.3%	18.9%	4.4%	4.8%	
		通院	0.4%	17.2%	4.4%	1.8%	1.3%	
		娯楽・レジャー	0.0%	2.6%	0.9%	2.6%	0.9%	
		その他	0.9%	3.5%	0.9%	0.4%	5.7%	
	勢圏内 (n=91)	通勤・通学	1.1%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		買い物	1.1%	14.3%	17.6%	6.6%	5.5%	
		通院	0.0%	22.0%	4.4%	1.1%	1.1%	
		娯楽・レジャー	0.0%	1.1%	0.0%	2.2%	1.1%	
		その他	1.1%	5.5%	0.0%	0.0%	9.9%	
	勢圏外 (n=112)	通勤・通学	0.9%	8.9%	0.0%	1.8%	0.9%	100.0%
		買い物	3.6%	16.1%	20.5%	3.6%	5.4%	
		通院	0.9%	16.1%	4.5%	0.9%	0.9%	
		娯楽・レジャー	0.0%	3.6%	1.8%	2.7%	0.9%	
		その他	0.9%	2.7%	0.9%	0.9%	0.9%	

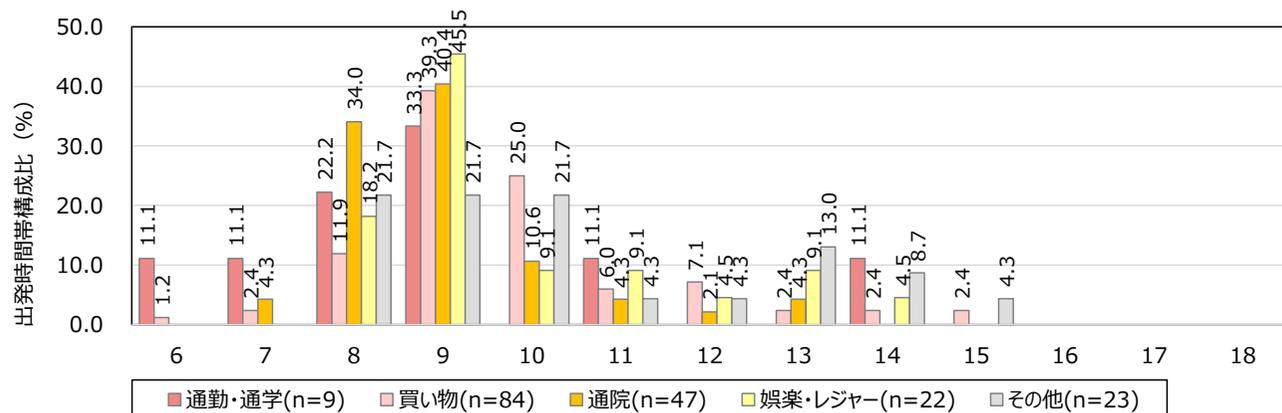
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 3. 市内循環「きらめき号」の利用について

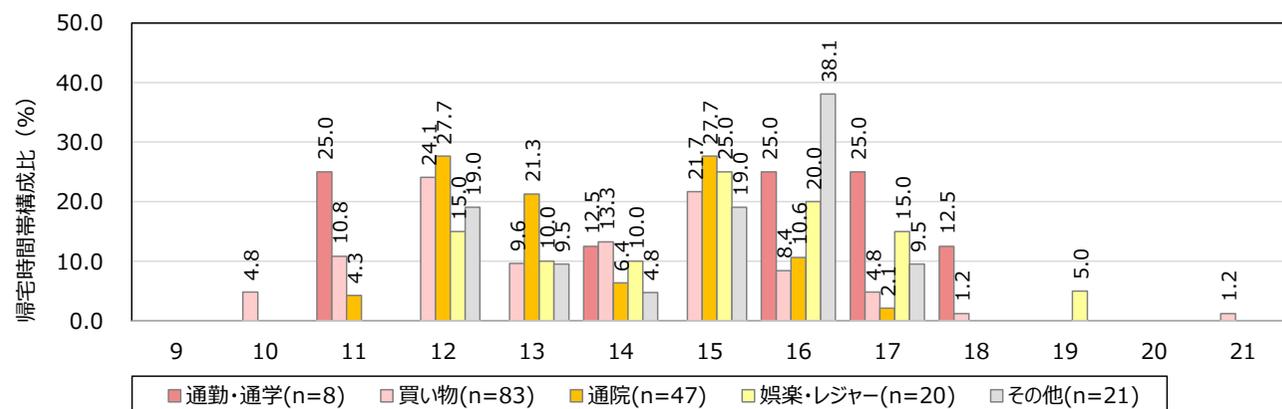
## (2) 主な外出目的以外での利用 (2/5)

○ 出発時間帯を利用目的別にみると、「通勤・通学」は8～9時台、「買い物」は9時台、「通院」は9～10時台がピークであり、帰宅時間帯では、「通勤・通学」は16～17時台、「買い物」は12時台及び16時台、「通院」は12～13時台及び15時台がピークである。

### ●外出先への出発時間帯 (利用目的別)



### ●外出先からの帰宅時間帯 (利用目的別)



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 3. 市内循環「きらめき号」の利用について

## (2) 主な外出目的以外での利用 (3/5)

- 主な目的以外での行き先をみると、8割以上が柏原市内を行き先としている。市外行き先では、大阪市及び八尾市が多くみられた。
- 主な目的以外での行き先を利用目的別にみると、「買い物」では9割以上が柏原市内を行き先としている。また、一方で、市外への「通院」も一定数みられる。
- 市内の主な目的以外での行き先を利用目的別にみると、「通勤・通学」では、「近鉄河内国分駅周辺」及び「その他柏原市内」の割合が高い。買い物では、「近鉄河内国分駅周辺」が特に多い。「通院」では、「近鉄安堂駅周辺」以外でそれぞれ一定数みられた。

### ●主な目的以外での外出先

主な目的以外での外出先	回答者数	割合
<b>柏原市内</b>	<b>175</b>	<b>84.5%</b>
近鉄河内国分駅周辺	95	45.9%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺	35	16.9%
その他柏原市内	33	15.9%
近鉄安堂駅周辺	10	4.8%
(未回答)	2	1.0%
<b>近隣市町・大阪市内</b>	<b>27</b>	<b>13.0%</b>
大阪市	17	8.2%
八尾市	6	2.9%
藤井寺市	2	1.0%
羽曳野市	0	0.0%
松原市	0	0.0%
その他大阪府内	2	1.0%
吹田市	1	0.5%
(未回答)	1	0.5%
(未回答)	0	0.0%
<b>奈良県内</b>	<b>5</b>	<b>2.4%</b>
三郷町	0	0.0%
王寺町	2	1.0%
平群町	1	0.5%
(未回答)	2	1.0%
<b>その他府県</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>
<b>合計</b>	<b>207</b>	<b>100.0%</b>

### ●主な目的以外での行き先 (利用目的別)

	柏原市内	近隣市町・大阪府内	奈良県内	その他府県	回答者数
全体 (n=207)	84.5%	13.0%	2.4%	0.0%	100.0%
通勤・通学 (n=9)	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
買い物 (n=94)	90.4%	8.5%	1.1%	0.0%	100.0%
通院 (n=50)	84.0%	10.0%	6.0%	0.0%	100.0%
娯楽・レジャー (n=23)	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 (n=27)	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%

	JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺	近鉄安堂駅周辺	近鉄河内国分駅周辺	その他柏原市内	回答者数
全体 (n=173)	20.2%	5.8%	54.9%	19.1%	100.0%
通勤・通学 (n=7)	14.3%	0.0%	42.9%	42.9%	100.0%
買い物 (n=84)	19.0%	1.2%	76.2%	3.6%	100.0%
通院 (n=41)	24.4%	2.4%	39.0%	34.1%	100.0%
娯楽・レジャー (n=18)	22.2%	5.6%	27.8%	44.4%	100.0%
その他 (n=21)	19.0%	33.3%	23.8%	23.8%	100.0%

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 3. 市内循環「きらめき号」の利用について

## (2) 主な外出目的以外での利用 (4/5)

- 買い物施設を目的地とした外出先は、「ライフ国分店」が最も多い。
- 医療施設を目的地とした外出先は、「市立柏原病院」が最も多く、次いで、河内国分駅周辺の「まつもと耳鼻咽喉科」、「ほりもと内科消化器クリニック」が多い。
- 市役所などの市の施設を目的地とした外出先は、「柏原市役所」が最も多い。

### ●買い物施設の目的地

1	ライフ国分店	44
2	食品館アプロ国分店	7
3	サンプラザ柏原店	5
3	スーパーヤオヒコ(店舗不明)	5
4	あべのハルカス	3
5	サンディ柏原店	2
5	アカカベ柏原大正店	2
5	アリオ八尾	2
5	近鉄百貨店(店舗不明)	2
5	万代(店舗不明)	2
6	スーパーマルヒ国分店	1
6	サンドラッグ柏原大県店	1
6	DAISO河内国分店	1
6	万代柏原大県店	1
6	イオンタウン松原	1
6	西友王寺店	1
6	ビックカメラなんば店	1
6	百貨店(店舗不明)	1
6	キューズモール(店舗不明)	1
6	高島屋(店舗不明)	1
	その他	5
回答数 合計		89
回答者数		60

### ●医療施設の目的地

1	市立柏原病院	11
2	まつもと耳鼻咽喉科	3
2	ほりもと内科消化器クリニック	3
3	医療法人聖心会大島医院	2
4	医療法人みなみ耳鼻咽喉科クリニック	1
4	さかいペインクリニック	1
4	老人福祉センター やすらぎの園	1
4	医療法人徳洲会全南病院	1
4	白岩内科医院	1
4	あかし内科クリニック	1
4	モアクリニック	1
4	高井歯科医院	1
4	医療法人昌和会かねもと整形外科	1
4	えばら皮フ科	1
4	医療法人井ノ上眼科	1
4	きたむら内科	1
4	西整形外科	1
4	医療法人真征会西出クリニック	1
4	泌尿器科三浦クリニック	1
4	このは鍼灸整骨院	1
4	医療法人宗栄会塚本クリニック	1
4	四天王寺病院	1
4	近畿大学奈良病院	1
4	医療法人徳洲会八尾徳洲会総合病院	1
4	医療法人仁悠会辻野病院	1
4	なかむら歯科医院	1
4	大阪はびきの医療センター	1
	その他	5
回答数 合計		47
回答者数		34

### ●市役所などの市の施設の目的地

1	柏原市役所	7
2	健康福祉センター(オアシス)	2
3	柏原市立勤労者センター	1
3	老人福祉センター やすらぎの園	1
3	柏原つどいの広場「ほっとステーション」	1
3	柏原警察署	1
3	玉手つどいの広場「たまたまばこ」	1
3	子育て支援センター スキップKIDS	1
3	柏原市立図書館(柏原or国分)	1
	その他	2
回答数 合計		18
回答者数		13

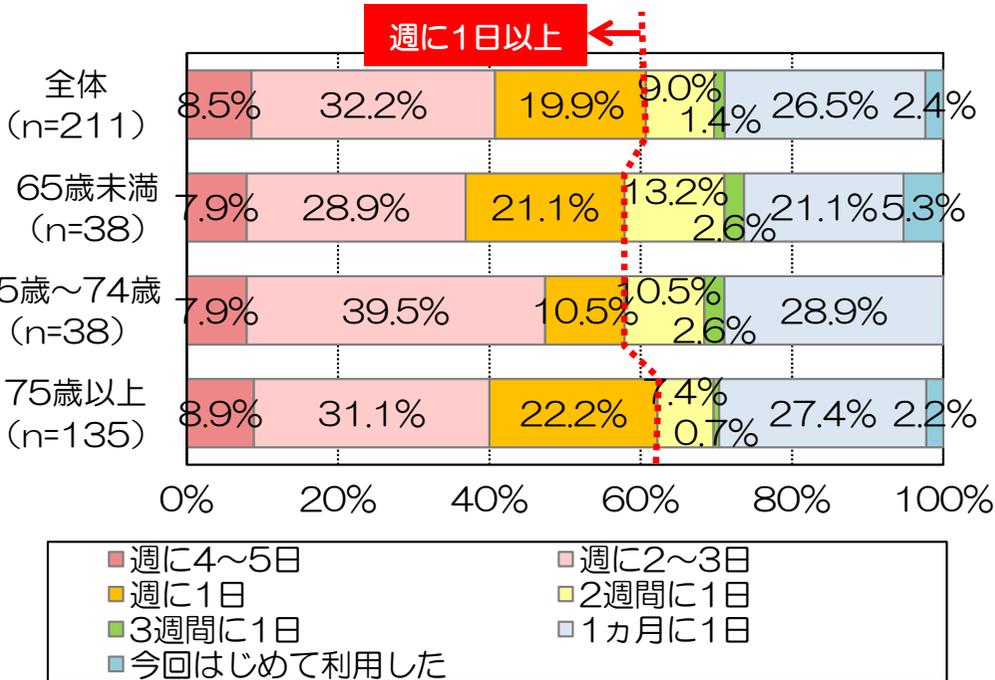
: 市内
  : 市外
  : 不明

# 3. 「きらめき号」を利用する主な外出目的

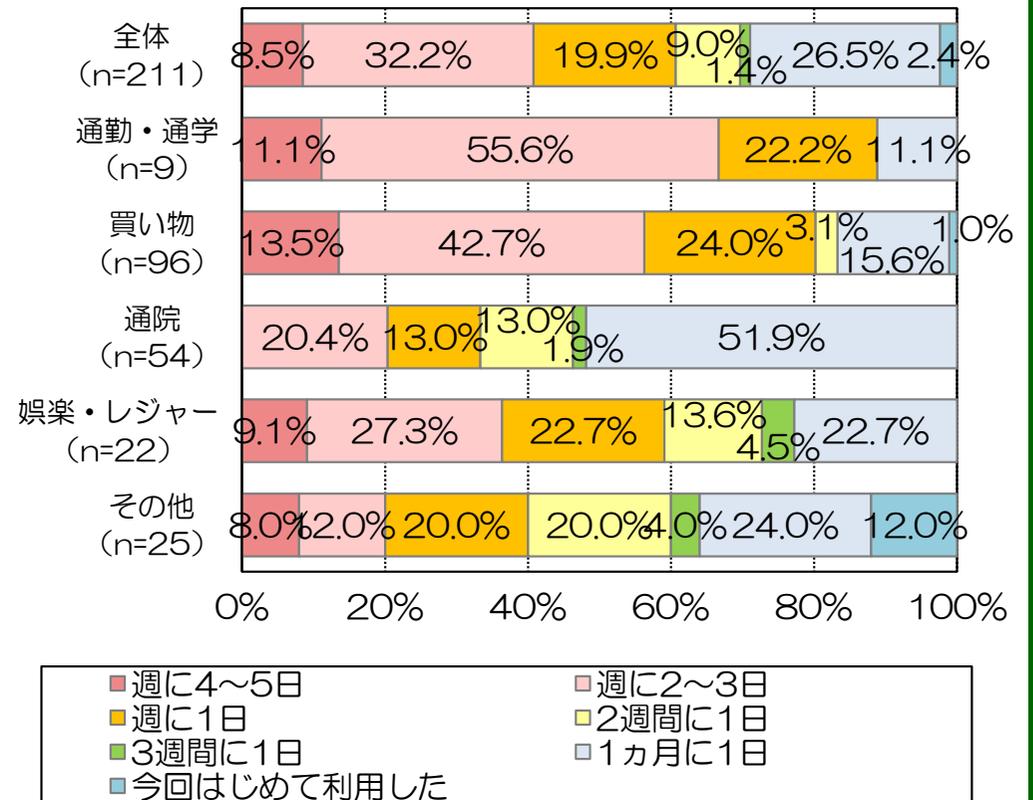
## (2) 主な外出目的以外での利用 (5/5)

- 主な外出目的以外での外出先への外出頻度を年齢別にみると、いずれの年齢でも約6割が「週に1日」以上の頻度で利用している。
- 外出目的別にみると、「通勤・通学」及び「買い物」目的で、比較的外出頻度が高い傾向にある。

●主な外出先への外出頻度 (年齢別)



●主な外出先への外出頻度 (外出目的別)



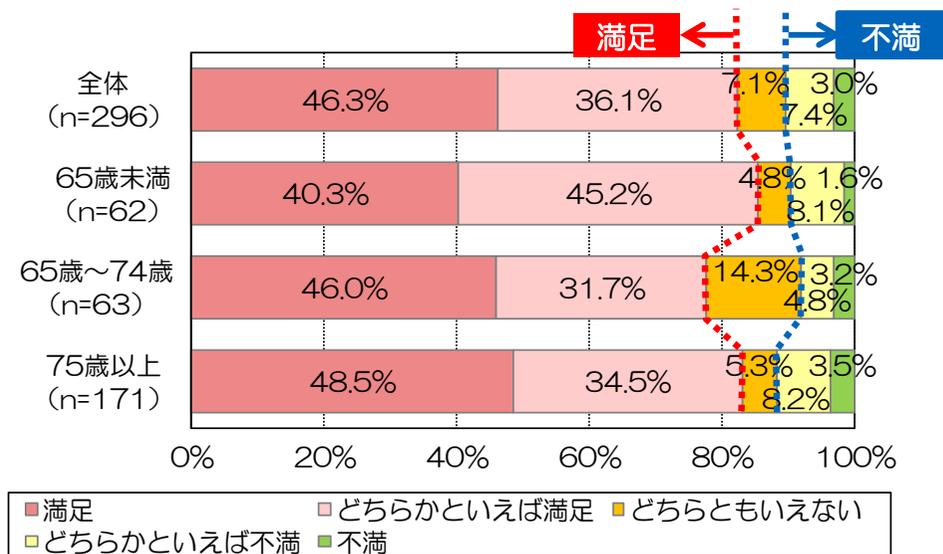
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 4. 市内循環バス「きらめき号」の満足度と改善要望

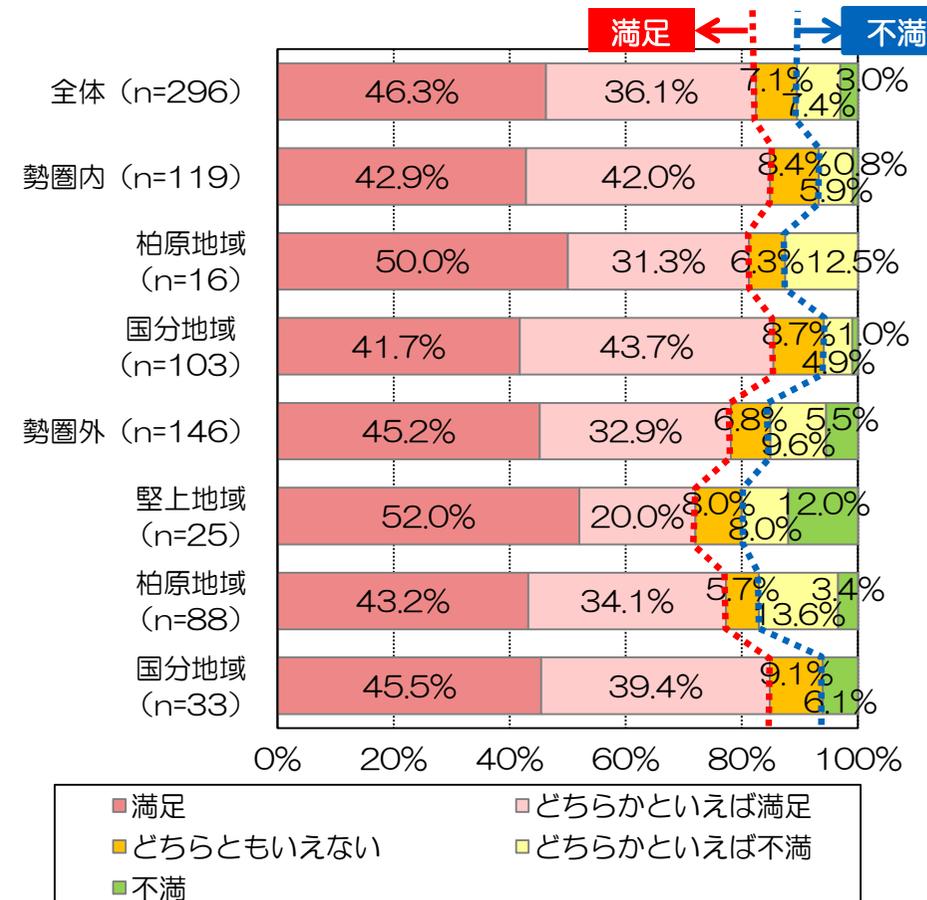
## (1) 市内循環バスでの移動に対する満足度

- 市内循環バスでの移動に対する満足度を年齢別にみると、「満足（満足+どちらかといえば満足）」の割合は、いずれの年齢も8割前後だが、65歳～74歳で若干低い。「不満（どちらかといえば不満+不満）」の割合は、いずれの年齢も1割前後だが、75歳以上で若干高い。
- 住まいの地域別にみると、勢圏内より勢圏外の方が「満足」の割合が低く、特に堅上地域で顕著であり「不満」の割合も最も高い。

● 「きらめき号」の満足度（年齢別）



● 「きらめき号」の満足度（住まいの地域別）



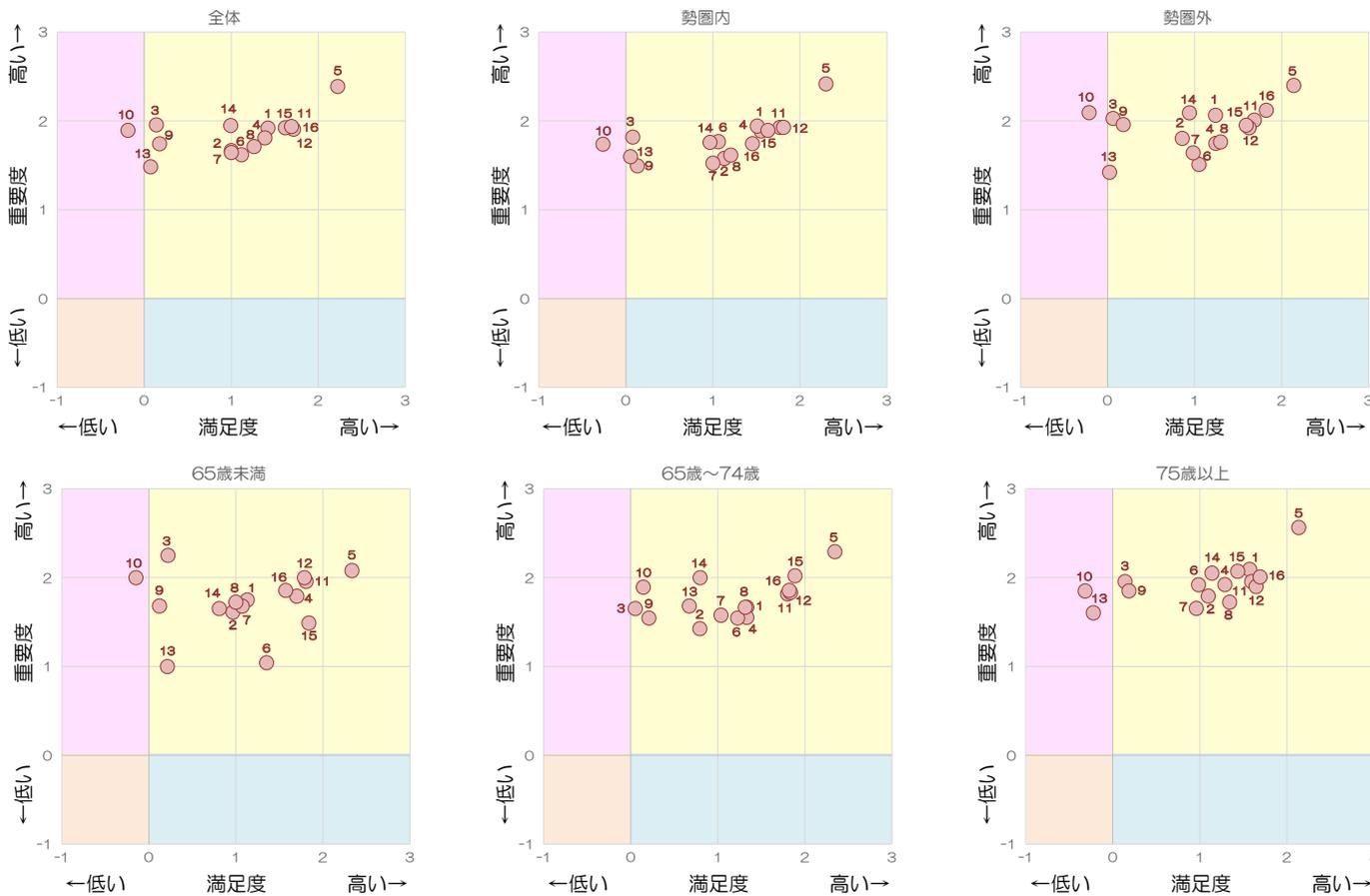
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 4. 市内循環バス「きらめき号」の満足度と改善要望

## (2) 市内循環バス利用時の満足度と重要度

- 市内循環バス利用時の満足度と重要度をみると、「3:バスのルートや運行頻度」「9:終発便の運行時間帯」「10:1日の運行便数」「13:バス停にベンチ・屋根等がある」が重要度が高く満足度が低い、優先して充実が求められる項目である。
- 特に「5:目的地までバスで安全に行ける」や、「11,12:自宅や行き先とバス停までの距離」「15:バスの乗り降りのしやすさ」「16:乗務員の接客態度」は重要度・満足度いずれも高く、継続して充実が求められる項目である。

### ● 「きらめき号」の満足度と重要度



※「現状の満足度」・「重要度」を以下のとおり点数化し、結果の件数に下記の点数を乗じて満足度・重要度のレベルを算出

【現状の満足度の点数】  
 3点：「1.満足」  
 1点：「2.やや満足」  
 -1点：「3.やや不満」  
 -3点：「4.不満」

【現状の重要度の点数】  
 3点：「1.重要」  
 1点：「2.やや重要」  
 -1点：「3.あまり重要でない」  
 -3点：「4.重要でない」

優先して充実が求められる項目 重要度：高 満足度：低	継続して充実が求められる項目 重要度：高 満足度：高
市民からの要望が小さい項目 重要度：低 満足度：低	既に市民の満足度が高い項目 重要度：低 満足度：高

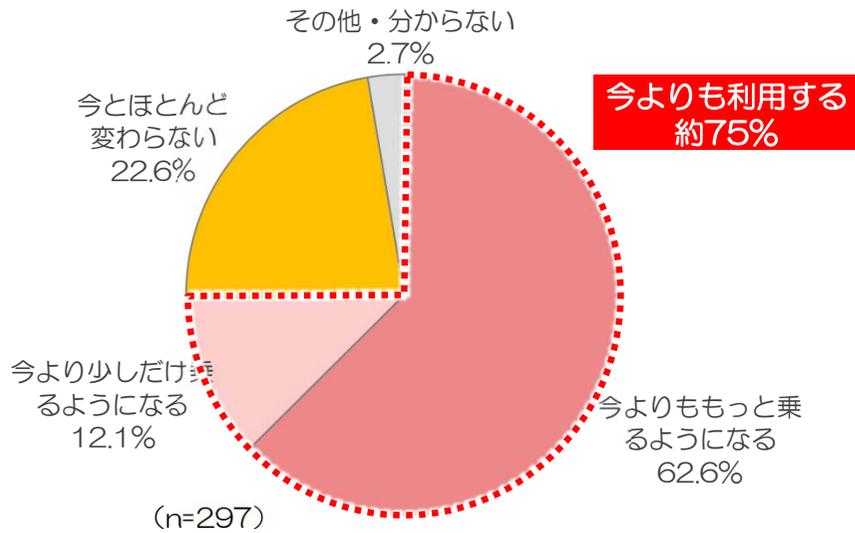
1	目的地まで遠回りせずに行ける
2	地域内をくまなくバスが巡回している
3	バスのルートや運行頻度
4	バスが遅れることなく目的地へ行ける
5	目的地までバスで安全に行ける
6	市内循環バス「きらめき号」同士の乗継利用
7	鉄道（JRや近鉄）との乗継利用
8	始発便の運行時間帯
9	終発便の運行時間帯
10	1日の運行便数
11	自宅からバス停までの距離
12	降りたバス停から行き先までの距離
13	バス停にベンチ・屋根等がある
14	路線、時刻表の案内の見やすさ・わかりやすさ
15	バスの乗り降りのしやすさ
16	乗務員の接客態度

# 4. 市内循環バス「きらめき号」の満足度と改善要望

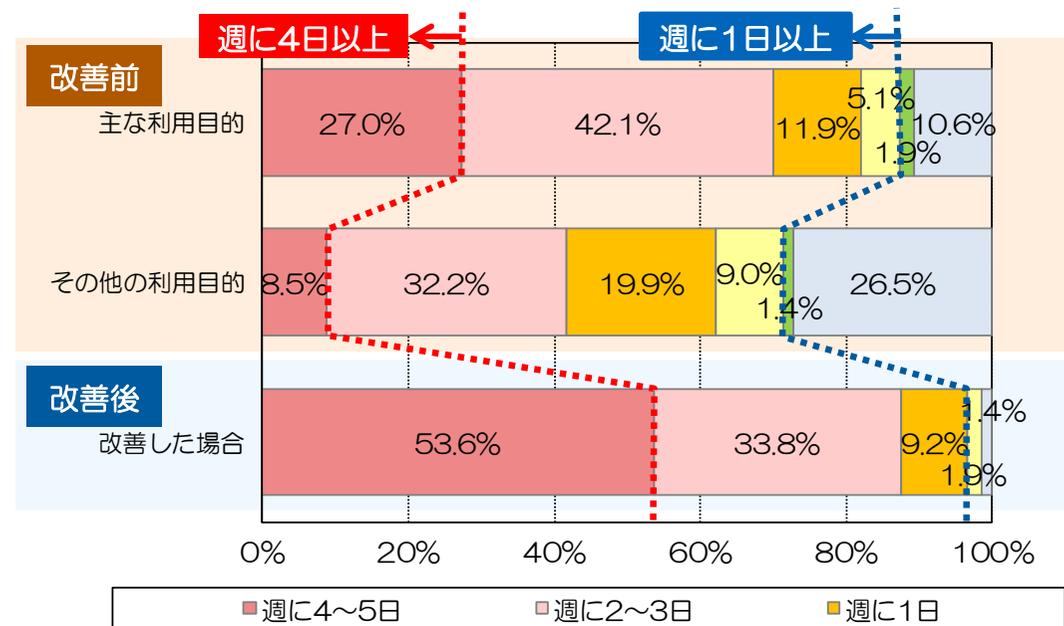
## (3) サービス改善による市内循環バスの利用意向

- バスサービスが改善された場合における市内循環バスの利用意向の変化をみると、約75%が今よりも利用すると回答している。
- 利用頻度の変化をみると、現在の主な利用目的と比べると、「週に4~5日」は約27%から約54%、「週に1日」以上は約81%から約97%となる。

### ● 「きらめき号」のが改善された場合の利用意向



### ● 「きらめき号」のが改善された場合の利用頻度



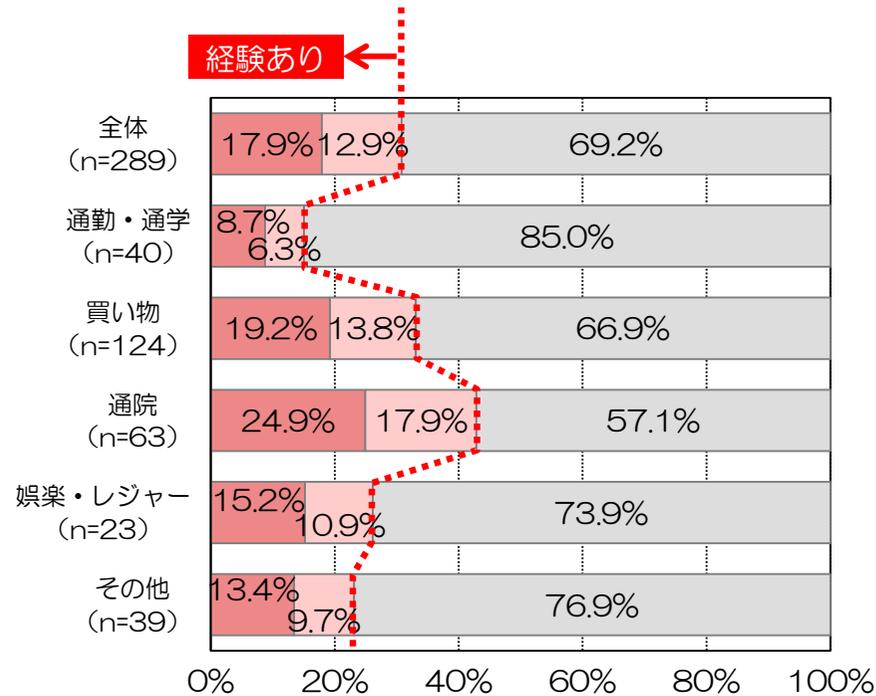
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 4. 市内循環バス「きらめき号」の満足度と改善要望

## (4) 満員により乗車できなかった経験の有無

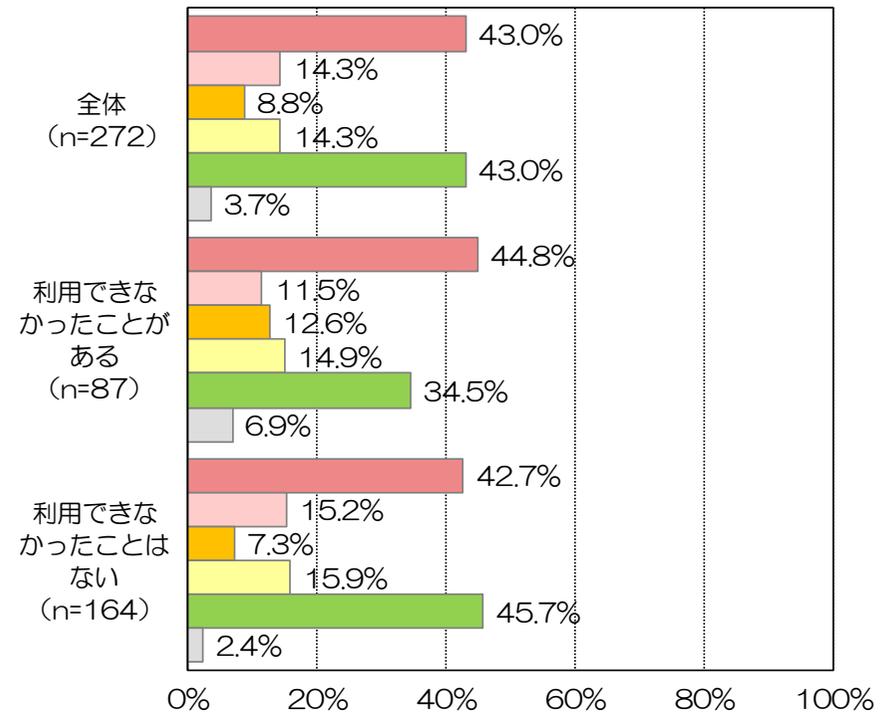
- 市内循環バスが満員により乗車することができなかった経験の有無を利用目的別にみると、全体で約3割が乗車できなかった経験があり、中でも「買い物」や「通院」を目的とした利用時に乗車できなかった経験がある利用者が多い。
- 市内循環バスの改善意向を乗車できなかった経験の有無別でみると、利用出来なかったことがある人は「バスの運行本数を増やす」の割合が最も多く、また「多くの人に乗れる大きなバスにする」の割合は利用できなかったことはない人に比べて高い。一方で、利用できなかった経験があっても「今まで通りでも良い」という回答も一定数みられる。

●満員により乗車できなかった経験の有無（目的別）



- 利用できなかったことがある（追加のバスを利用した）
- 利用できなかったことがある（乗車を諦めた）
- 利用できなかったことはない

●市内循環バスの改善意向（乗車できなかった経験の有無別）



- バスの運行本数を増やす
- 多くの人に乗れる大きなバスにする
- リアルタイムで混雑状況を発信する
- 今まで通りでも良い
- 運行ルートを見直す
- その他

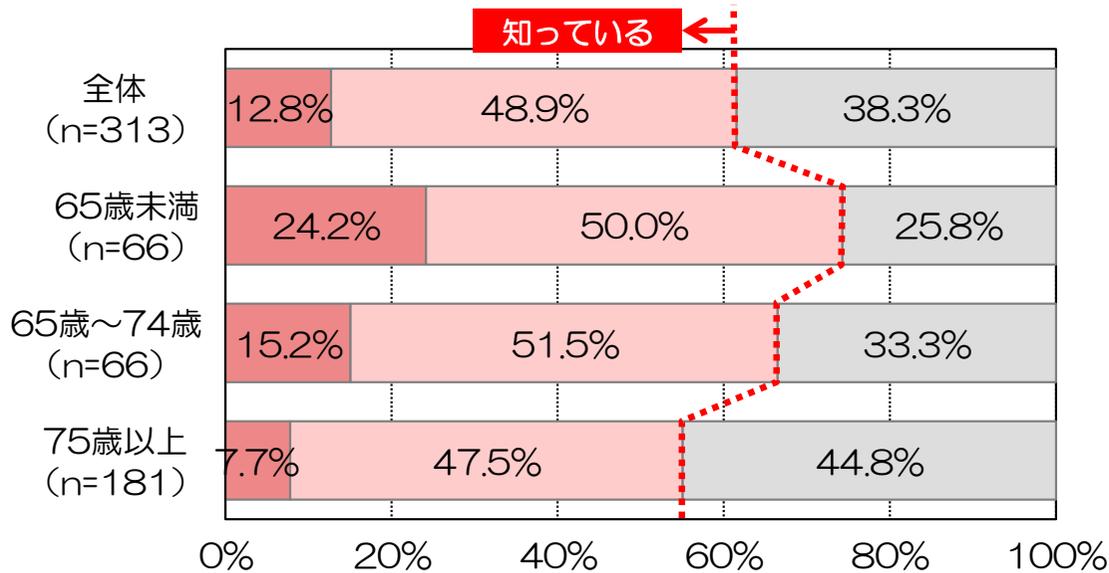
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 4. 市内循環バス「きらめき号」の満足度と改善要望

## (5) バスロケーションシステムの認知度

○ バスロケーションシステムの認知度（知っている・利用している+知っているが利用していない）は、全体で約6割である。認知度、利用率（知っている・利用している）ともに、高齢になるにつれて割合は低い。

●バスロケーションシステムの認知度（年齢別）



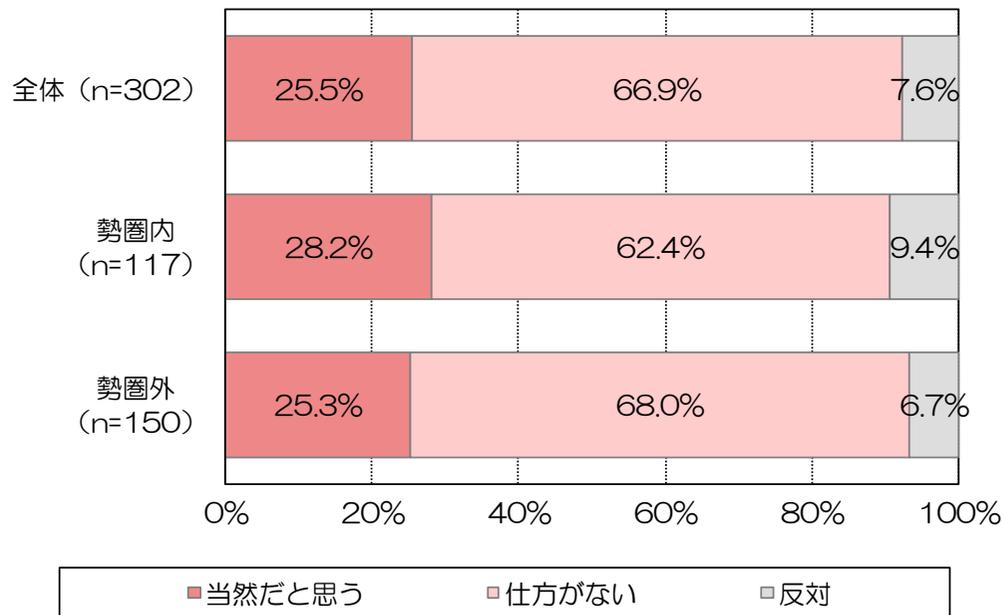
■ 知っている・利用している ■ 知っているが利用していない ■ 知らない

# 5. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識

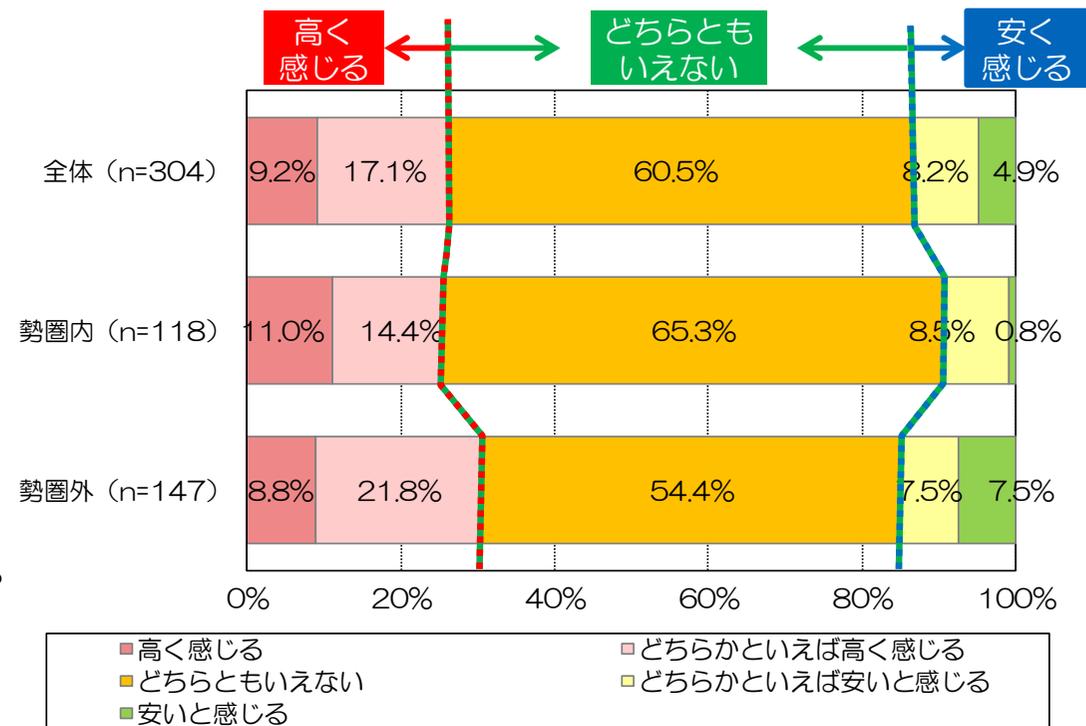
## (1) 市がバスの運行経費を負担することについて

- バスを維持・充実させるために市が運行経費を負担することについては、回答者の9割以上が容認している。なお、勢圏内及び勢圏外で大きな違いは見受けられない。
- 市がバスの運行経費を負担する金額については、「どちらともいえない」の割合が最も高く、次いで「高い（高く感じる+どちらかといえば高く感じる）」が約3割で、地域別でみると勢圏外の方がやや割合が高い傾向である。また、勢圏外の方が「安い（どちらかといえば安いと感じる+安いと感じる）」の割合が高く、勢圏内と比べ意見が分かれている。

●バスを維持・充実させるために市が運行経費を負担することについて（住まいの地域別）



●柏原市がバスの運行経費を負担する金額について（住まいの地域別）



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 5. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識

## (2) 今後の地域公共交通に対する財政負担の考え方

- 今後の地域公共交通に対する財政負担の考え方を地域別にみると、勢圏外の国分地域以外では、「現在と同程度の財政負担を維持したまま、運行の効率化や見直しを行いサービスの向上を図るべき」の割合が、勢圏外の国分地域では「これまで通り財政負担を続け、現在と同様のサービスを維持すべき」の割合が最も高い。
- 「市民負担や財政負担を増やしても、今以上にサービスの向上を図るべき」はいずれの地域でも一定数みられた。
- 「利用が少ない路線や区間は、廃止や減便等の縮小を図ることにより、市の財政負担を減らすべき」は堅上地域ではみられない。
- 「市内循環バス「きらめき号」は廃止すべき」の回答はほとんどみられない。

### ●今後の地域公共交通に対する財政負担の考え方について（住まいの地域別）

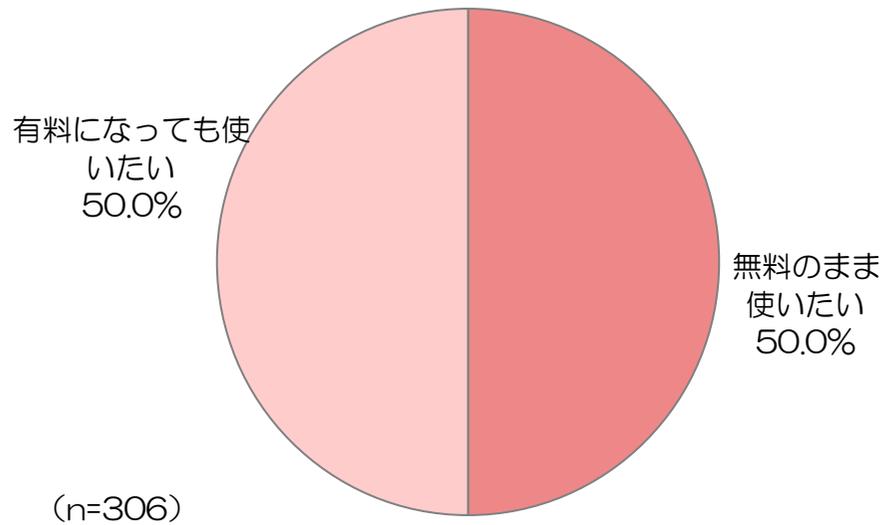
	市民負担や財政負担を増やしても、今以上にサービスの向上を図るべき	現在と同程度の財政負担を維持したまま、運行の効率化や見直しを行いサービスの向上を図るべき	これまで通り財政負担を続け、現在と同様のサービスを維持すべき	利用が少ない路線や区間は、廃止や減便等の縮小を図ることにより、市の財政負担を減らすべき	市内循環バス「きらめき号」は廃止すべき	回答者数
全体 (n=295)	16.6%	42.0%	30.5%	10.5%	0.3%	100.0%
勢圏内 (n=119)	15.1%	44.5%	28.6%	11.8%	0.0%	100.0%
柏原地域 (n=14)	21.4%	50.0%	7.1%	21.4%	0.0%	100.0%
国分地域 (n=105)	14.3%	43.8%	31.4%	10.5%	0.0%	100.0%
勢圏外 (n=140)	19.3%	39.3%	30.0%	11.4%	0.0%	100.0%
堅上地域 (n=23)	21.7%	52.2%	26.1%	0.0%	0.0%	100.0%
柏原地域 (n=85)	17.6%	42.4%	24.7%	15.3%	0.0%	100.0%
国分地域 (n=32)	21.9%	21.9%	46.9%	9.4%	0.0%	100.0%

# 5. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識

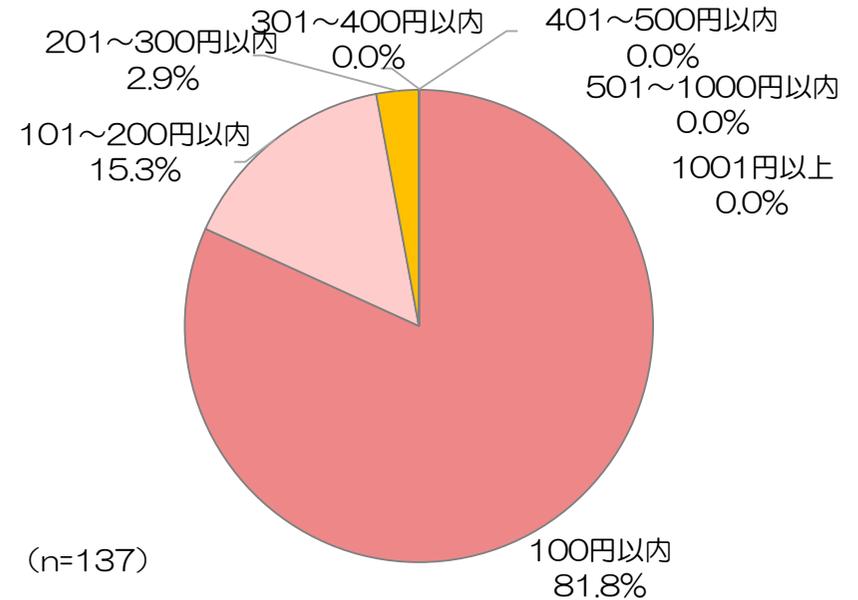
## (3) 市内循環バスの有料化について

- 市内循環バスの運行を充実させるための有料化については、回答が二分している。
- 有料化した場合の1乗車あたりの支払意思額は、「100円以内」の割合が最も高く、「300円」が最大である。

●きらめき号の有料化について



●有料化した場合の1乗車あたりの支払意思額



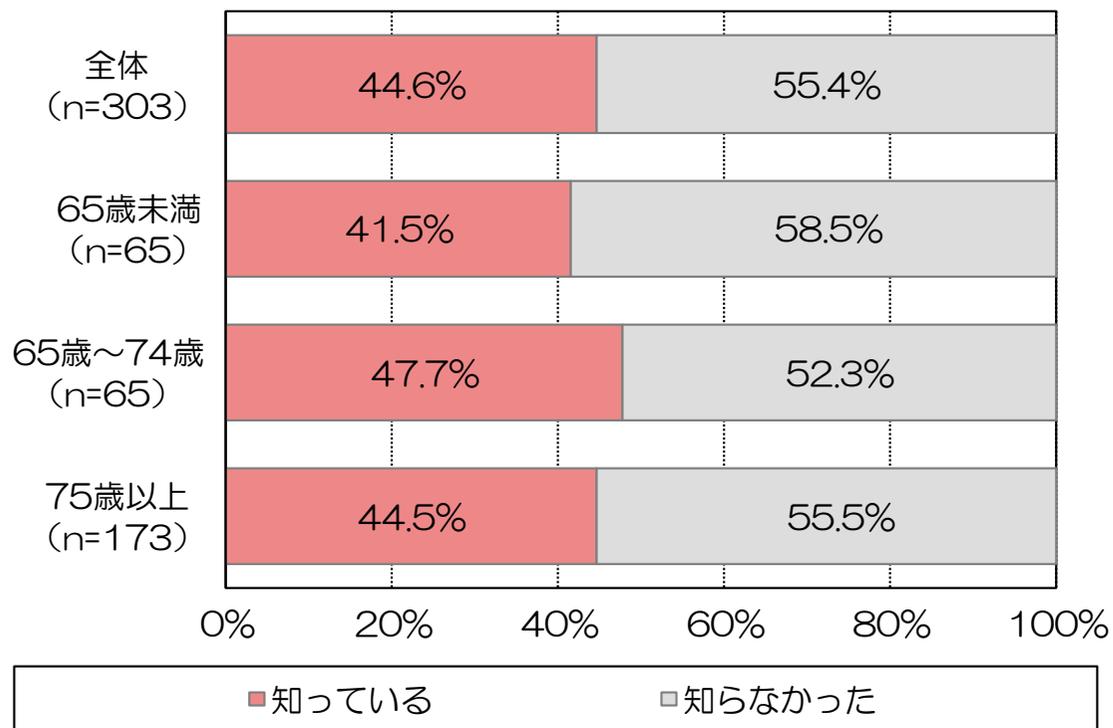
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 6. デマンドタクシーの利用意向

## (1) デマンドタクシーの認知度

○ デマンドタクシーの認知度は全体で約45%で、年齢による違いはみられない。

●デマンドタクシーの認知度（年齢別）



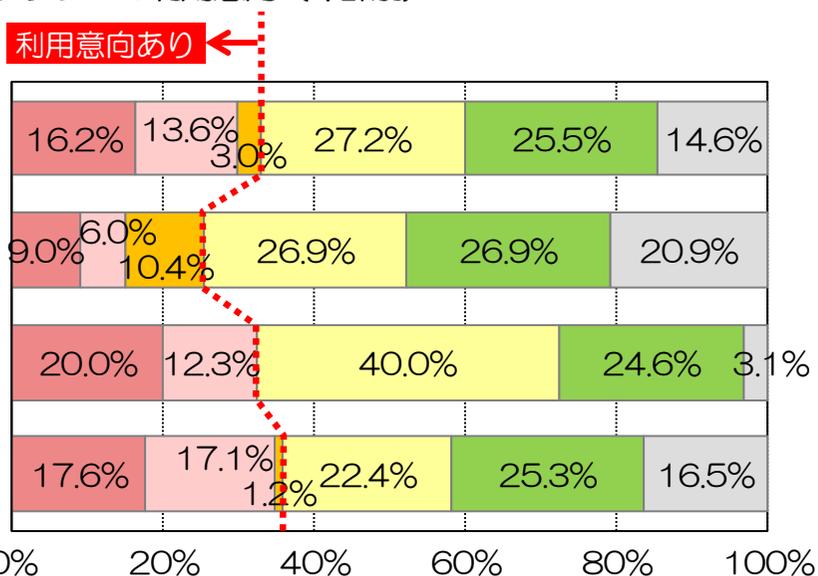
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 6. デマンドタクシーの利用意向

## (2) デマンドタクシーの利用意向

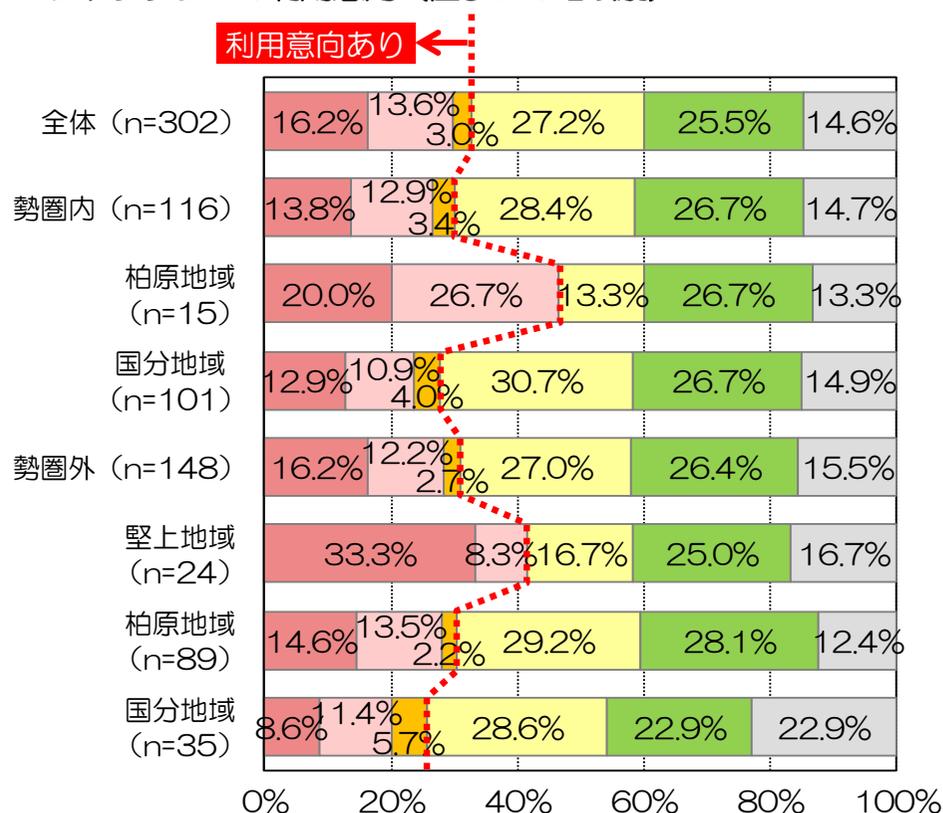
- デマンドタクシーの利用意向は、全体で3割程度で、年齢別にみると高齢になるほど利用意向が強い。
- 住まいの地域別にみると、勢圏内及び勢圏外で大きな違いはみられないが、堅上地域や勢圏内の柏原地域での利用意向が強い。

●デマンドタクシーの利用意向（年齢別）



- 利用する
- 電話予約ができるのであれば利用する
- インターネットで予約できるのであれば利用する
- 必要な状態になれば利用する（高齢により自動車が運転できなくなった時など）
- わからない
- 利用しない

●デマンドタクシーの利用意向（住まいの地域別）



- 利用する
- 電話予約ができるのであれば利用する
- インターネットで予約できるのであれば利用する
- 必要な状態になれば利用する（高齢により自動車が運転できなくなった時など）
- わからない
- 利用しない

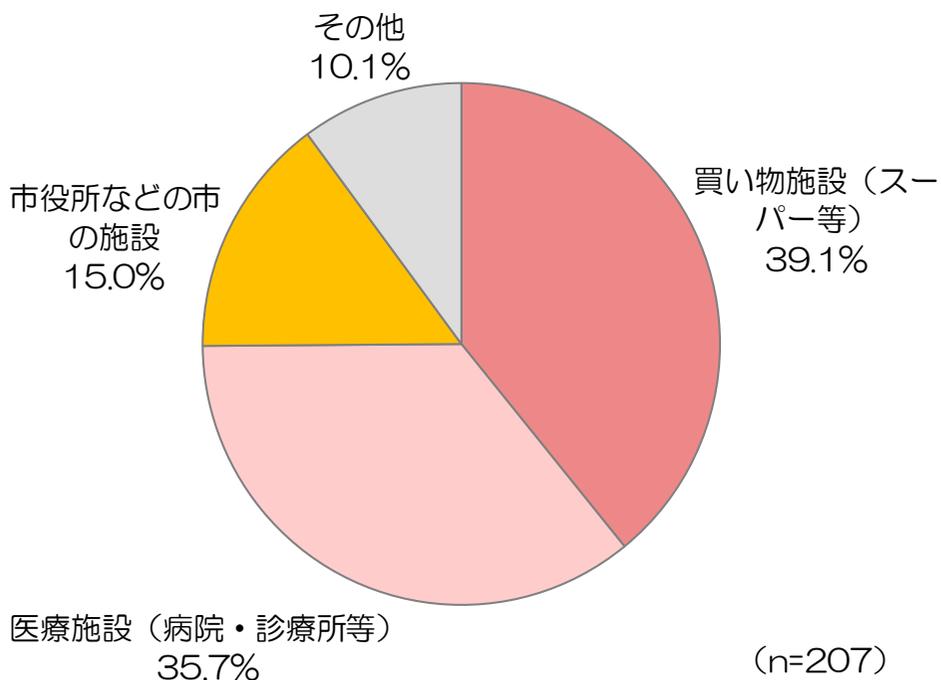
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 6. デマンドタクシーの利用意向

## (3) デマンドタクシー利用時における希望する行き先

- デマンドタクシー利用時における希望の行き先は、「買い物施設」、「医療施設」、「市役所などの市の施設」の順に多い。
- 行きたい施設は、買い物では「ライフ国分店」、医療施設では「市立柏原病院」、市の施設では「柏原市役所」や「老人福祉センター やすらぎの園」が多い。

### ●デマンドタクシー利用時における希望する行き先



### ●デマンドタクシーで行きたい施設（上位最大5位まで）

#### ・買い物施設の目的地

1	ライフ国分店	21
2	サンプラザ柏原店	5
2	食品館アプロ国分店	5
	その他	4
回答数		合計 53
回答者数		28

#### ・医療施設の目的地

1	市立柏原病院	14
2	医療法人徳洲会全南病院	1
2	さかいペインクリニック	1
2	鈴木医院	1
2	ほりもと内科消化器クリニック	1
回答数		合計 18
回答者数		16

#### ・市役所などの市の施設の目的地

1	柏原市役所	2
1	老人福祉センター やすらぎの園	2
回答数		合計 10
回答者数		6

■	: 市内
□	: 市外
■	: 不明

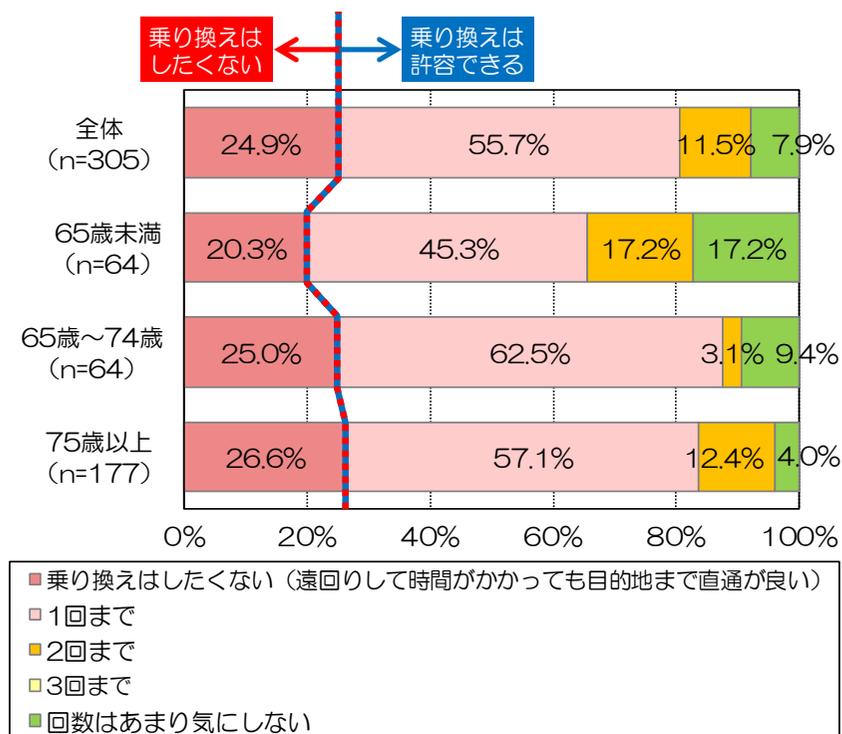
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

# 6. デマンドタクシーの利用意向

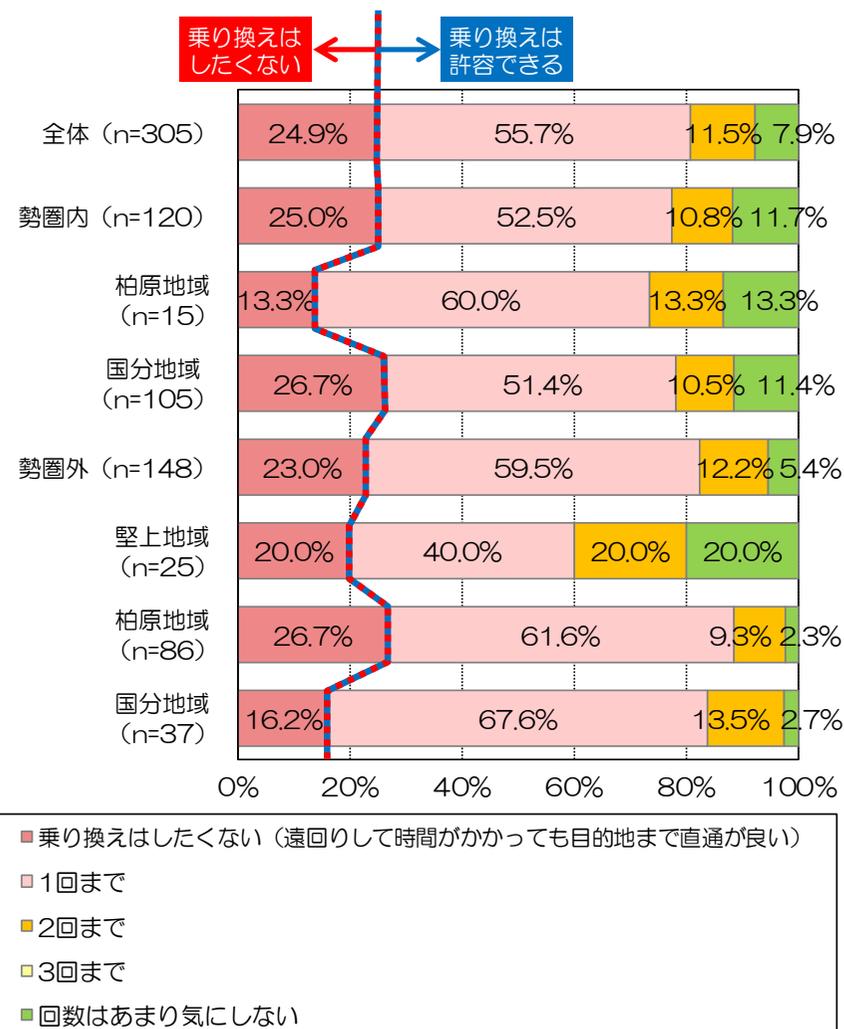
## (4) バス利用時における乗り換え可能な回数

- バス利用時における乗り換え可能な回数は「1回まで」の割合が最も高く、次いで「乗り換えはしたくない」である。「乗り換えはしたくない」の割合は高齢になるほど高くなる。
- 地域別にみると、勢圏内の柏原地域や、堅上地域で乗り換えを許容する割合が高い。

●バス利用時における乗り換え可能な回数（年齢別）



●バス利用時における乗り換え可能な回数（住まいの地域別）



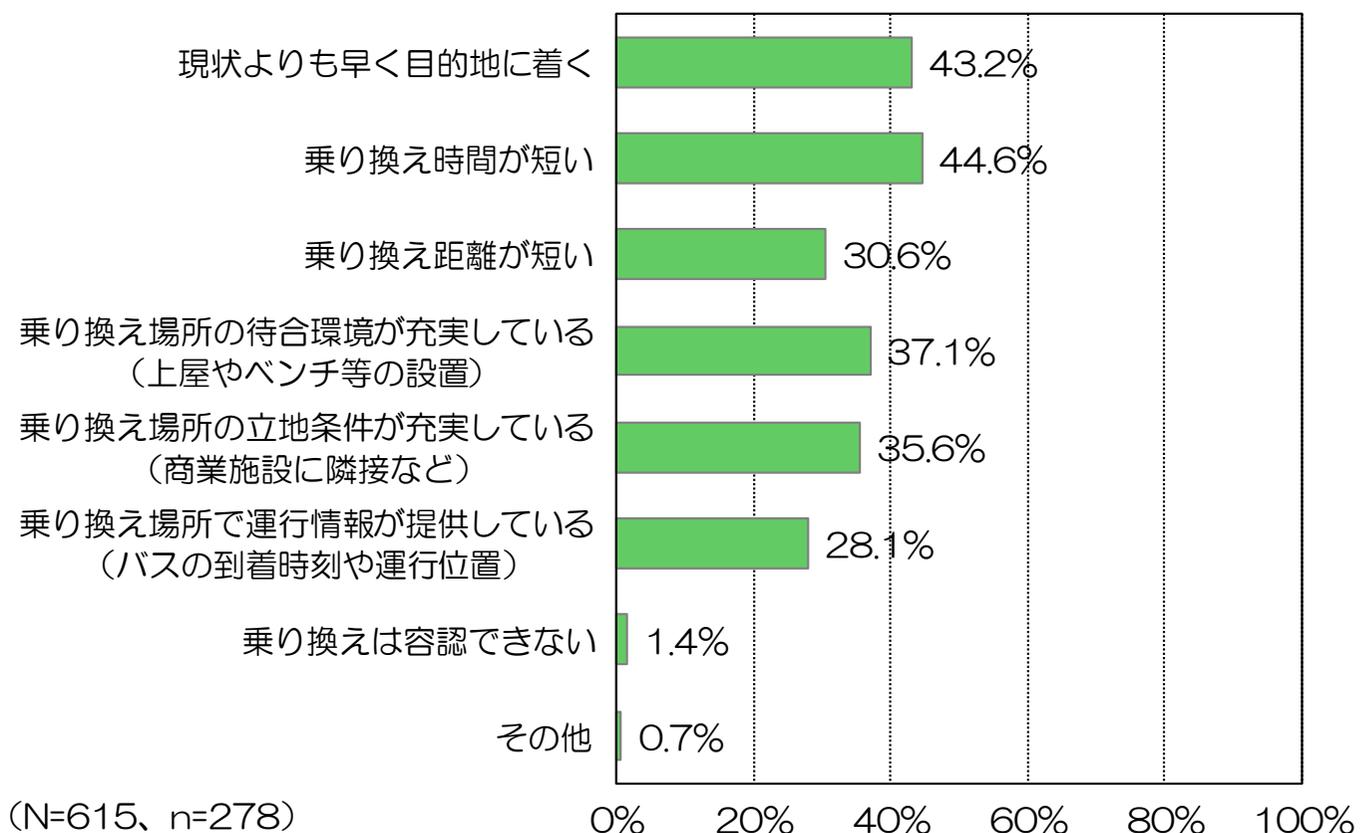
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

## 6. デマンドタクシーの利用意向

### (5) 乗継拠点が整備される場合において許容できる条件

- 乗り継ぎ拠点が整備される場合において許容できる条件は、「乗り換え時間が短い」が最も多く、次いで「現状よりも早く目的地に着く」、「乗り換え場所の待合環境が充実している」、「乗り換え場所の立地条件が充実している」の順である。

#### ●乗継拠点が整備される場合において許容できる条件



# 7. 運転免許の自主返納について

## (1) 運転免許証の保有状況と返納意向

※65歳以上の方が対象

- 運転免許証の保有状況は、全体では約76%が運転免許証非保有者（自主返納した+持っていない）である。保有者のうち、「自動車」の割合は75歳以上で顕著に少ない。また「運転免許を自主返納した」の割合は75歳以上で大きく増加する。
- 住まいの地域別で見ると、勢圏外では勢圏内と比べて「自動車」の保有率が高く、また「運転免許証を自主返納した」割合も勢圏外の方が低い傾向にある。
- 運転免許証の返納意向を年齢別にみると、高齢になるほど返納意向が強い傾向にあるが、その割合は2割程度である。

### ●運転免許証の保有状況（年齢別）

	自動車	自動二輪・原付	その他	運転免許証を自主返納した	運転免許証を持っていない	総回答数	回答者数
全体 (N=233, n=225)	18.7%	8.0%	0.9%	32.9%	43.1%	103.6%	100.0%
65歳～74歳 (N=64, n=61)	45.9%	4.9%	0.0%	13.1%	41.0%	104.9%	100.0%
75歳以上 (N=169, n=164)	8.5%	9.1%	1.2%	40.2%	43.9%	103.0%	100.0%

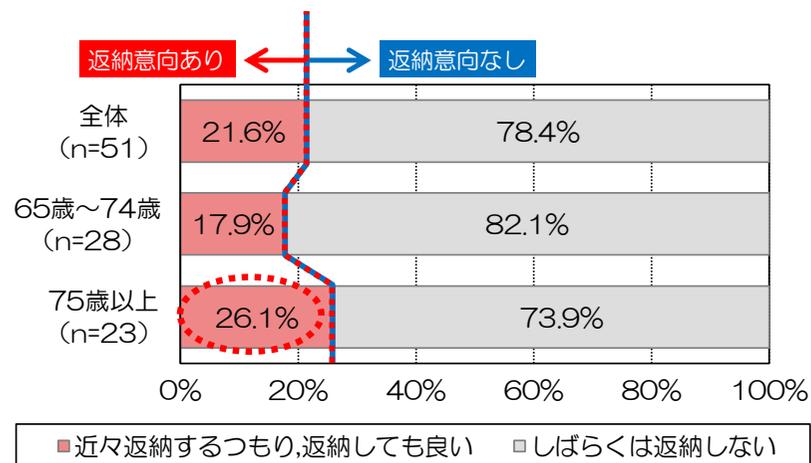
### ●運転免許証の保有状況（住まいの地域別）

	自動車	自動二輪・原付	その他	運転免許証を自主返納した	運転免許証を持っていない	総回答数	回答者数
全体 (N=233, n=225)	18.7%	8.0%	0.9%	32.9%	43.1%	103.6%	100.0%
勢圏内 (N=96, n=93)	14.0%	8.6%	0.0%	36.6%	44.1%	103.2%	100.0%
柏原地域 (N=10, n=10)	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%
国分地域 (N=86, n=83)	15.7%	9.6%	0.0%	34.9%	43.4%	103.6%	100.0%
勢圏外 (N=112, n=109)	22.0%	8.3%	0.9%	31.2%	40.4%	102.8%	100.0%
堅上地域 (N=17, n=17)	17.6%	23.5%	0.0%	29.4%	29.4%	100.0%	100.0%
柏原地域 (N=71, n=68)	22.1%	7.4%	1.5%	35.3%	38.2%	104.4%	100.0%
国分地域 (N=24, n=24)	25.0%	0.0%	0.0%	20.8%	54.2%	100.0%	100.0%

※複数回答（運転免許証の保有状況）

※複数回答（運転免許証の保有状況）

### ●運転免許証の返納意向（年齢別）



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

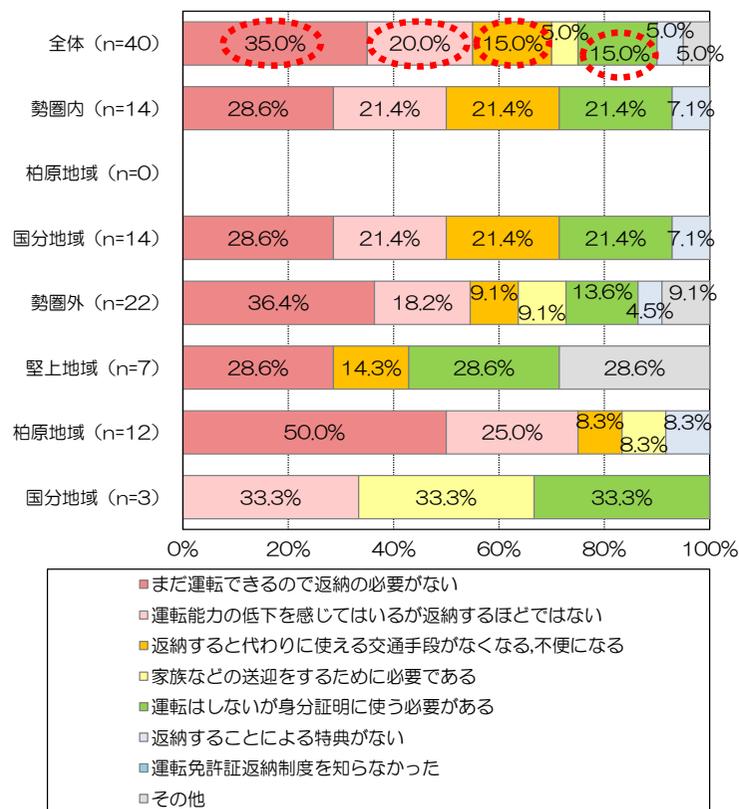
# 7. 運転免許の自主返納について

## (2) 運転免許証の返納しない理由

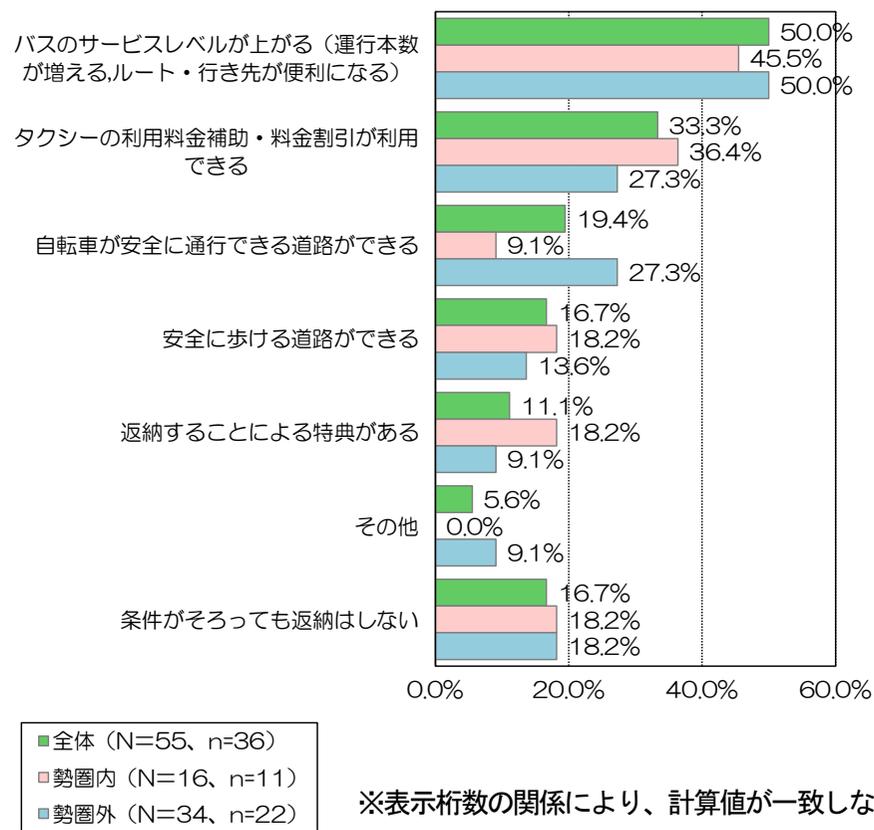
※65歳以上の方が対象

- 運転免許証を返納しない理由は、全体では「まだ運転できるので返納の必要がない」の割合が最も多い。次いで、「運転能力の低下を感じて入るが返納するほどではない」、「返納すると代わりに使える交通手段がなくなる、不便になる」、「運転はしないが身分証明に使う必要がある」が多い。
- 運転免許証を返納するための条件は、「バスのサービスレベルが上がる」の割合が最も高く、地域間で大きな違いはみられない。次いで、「タクシーの利用料金補助。料金割引が利用できる」の割合が高く、勢圏内が勢圏外と比べて高い。
- 「自転車が安全に通行できる道路ができる」の割合は、勢圏外が勢圏内に比べて高い。

●運転免許証を返納しない理由（住まいの地域別）



●運転免許証を返納するための条件（住まいの地域別）



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある